

総合人間科学研究科

教育学専攻

心理学専攻

社会学専攻

社会福祉学専攻

看護学専攻

1. 総合人間科学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

人間の尊厳を基盤とし、科学の知、臨床の知、政策・運営の知にかかわる学際的教育・研究を行い、理論と実践・臨床を両輪として社会に貢献しうる人材を育成する。前期課程では、実践・臨床の場で活躍できる高度専門職業人及びこれらの場を視野にいたした研究者の養成を目指し、後期課程では、実践・臨床的知見を踏まえ学問的に貢献しうる人材育成を目指す。

2. 各専攻のディプロマ・ポリシー

教育学専攻

【博士前期課程】

本課程では、教育学の領域における幅広い学識と基礎的研究スキルを身につけ、人間の尊厳を守りつつ、教育を通じて現代社会の課題解決に取り組むことができる人材の養成を目的として、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 社会の様々な事象についての情報収集力
2. 柔軟で多角的な思考力・分析力
3. 他者への共感と多様な集団との協働によって生み出す創造力
4. 問題解決のための実行力
5. 研究を適切に実行し、その成果を学術論文としてまとめる力

【博士後期課程】

本課程では、研究者として教育学の領域における幅広い学識と高度な研究スキルを身につけ、人間の尊厳を守りつつ、教育を通じて現代社会の課題解決にリーダーシップを発揮して取り組むことができる人材の養成を目的として、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 社会の様々な事象についての情報収集力
2. 柔軟で多角的な思考力・分析力
3. 他者への共感と多様な集団との協働によって生み出す創造力
4. 問題解決にリーダーシップを発揮して取り組む実行力
5. 自立的に研究を遂行し、新たな知見を学術と政策・実践にもたす力
6. 研究成果を適切にまとめ広く社会に発信する力

心理学専攻

【博士前期課程】

本課程では、キリスト教ヒューマニズムに基づく人間の尊厳を守る社会を実現するために、心理学の知識の理解、研究方法の修得や実践を通し、学修の成果を研究活動として結実させ、心理学の専門家・専門職として社会に貢献できる人材の養成を目的として、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につ

けたものと認め、学位を授与します。

1. 基礎心理学コース、臨床心理学コースの両コース共に、心の働きの実証的理解、心と行動の普遍性およびその多様性と可塑性の理解、心理学の社会的役割の理解
2. 心を生み出す仕組み（機構）と心理学の諸理論の正確な理解を踏まえて、人間についてより深く理解する力
3. 専門職業人として、本学の建学の理念である「隣人性」「国際性」を達成するために、基礎分野および臨床分野（医療、教育、福祉等）で活かすことのできる知識や技術、それを的確に伝える力
4. 多様な他分野、多職種との連携が可能となる広い知見
5. 自身の専門領域を深め、学会などでの発表を踏まえ、修士論文としてその成果をまとめるとともに、広く発信する力

【博士後期課程】

本課程では、キリスト教ヒューマニズムに基づく人間の尊厳を守る社会を実現するために、心理学の知識の理解、研究方法の修得や実践を通し、学修の成果を研究活動として結実させ、論文の形で問うことができるようにします。「心」を探求する専門的な知識と経験を、総合的視野に立って駆使し、研究者・教育者として社会に貢献できる人材の養成を目的とし、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 心理学の多様な分野での知見を深め、臨床的視点をもつ研究者、研究者の視点をもつ実践家となる力
2. 科学的視点を基盤にし、様々な場で対人支援を実践できる専門家としての能力
3. 自身の専門領域を深め、学会誌、国際学会などでの発表を踏まえ、博士論文としてその成果をまとめるとともに、広く発信する力
4. 多職種連携を必要とするがん医療の分野をはじめとする喫緊の課題解決に資する能力

社会学専攻

【博士前期課程】

本課程では、人間の尊厳を守る公正な社会の実現に向けて、社会が直面する様々な変化やそれに付随して生じる社会問題の根源的なメカニズムを理解し、冷静な分析力と機敏な応用力を兼ね備えた人材の養成を目的とし、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 専門分野における高度な理論的及び経験的知識を理解する力
2. 社会変動や社会問題について社会的な研究課題を設定する力
3. 社会的な研究課題に対して適切な研究方法及び分析手法を提案する力
4. 自らの主張を論理的に整理して的確に伝え、修士論文としてまとめる力
5. 研究課題の達成を通じて現代世界における多様な価値の共生に資する力

【博士後期課程】

本課程では、人間の尊厳を守る公正な社会の実現に向けて、社会が直面する様々な変化やそれに付随して生じる社会問題の根源的なメカニズムを理解し、研究者としての冷静な分析力と機敏な応用力を兼ね備え、また、高度な理論的知識や方法論的技術を駆使して研究論文をまとめる力量を備えた人材の養成を目的とし、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 専門分野における高度な理論的及び経験的知識を独自に整理し運用する力
2. 社会変動や社会問題について独創性を有する社会学的な研究課題を設定する力
3. 社会学的な研究課題に対して適切な研究方法及び分析手法を提案し、高度な水準でそれを実施する力
4. 自らの主張を論理的に展開して国内外に広く発信し、博士論文としてまとめる力
5. 研究を通じて現代世界の福祉と創造的進歩に資するような結論の提示または政策を提言する力

社会福祉学専攻

【博士前期課程】

本課程では、人間の尊厳を尊重し、福祉社会の実現と創造的進歩に貢献できる人材の養成を目的として、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 社会福祉における基本的理念、高度な専門知識と実践能力、研究能力
2. 福祉政策・運営管理と福祉臨床の両領域について幅広い知識を修得し、福祉社会を構築するうえでの実践能力
3. 理論と実践・臨床を統合することによって、現代社会における課題解決に向けた多角的な分析能力
4. 「研究者養成プログラム」では、福祉社会をデザインし作り出す実証研究能力を身につけ、学術雑誌や国際学会等で研究成果を発信し、学術論文としてまとめる力
5. 「高度福祉専門職養成プログラム」では、福祉臨床の知識・技術を身につけ、政策立案や臨床の現場で指導的役割を果たせる実践能力と、学術論文としてまとめる力

【博士後期課程】

本課程では、人間の尊厳を尊重し、福祉社会の実現と創造的進歩に、自立した研究者として貢献できる人材の養成を目的として、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. (博士前期課程で身につけた) 社会福祉における基本的理念、高度な専門知識と実践能力、研究能力をより高め、独創的な知見を生み出すことができる力
2. 福祉政策・運営管理と福祉臨床の両領域についての幅広い知識をさらに深め、福祉社会を構築するうえで必要となる高度な分析能力、実証研究能力
3. 学術雑誌への投稿、国際学会等での報告において研究成果を発信・議論し、博士論文としてまとめる力

看護学専攻

【修士課程】

本課程では、人間に対するケアリングをディシプリンとして捉えるとともに、実践に生かせる研究力ならびに指導力を兼ね備えた人材の養成を目的として、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 研究のプロセスを適切に踏み、その成果を的確な構成、論理的な展開をもって論文としてまとめる力
2. 人々の発達・健康レベルに応じた最善の健康支援をめざした実践能力と研究能力
3. 臨床現場で指導的役割を果たすことのできる実践能力
4. 学際的、総合的な視野をもって国内外で活動する力

3. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

教育学専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 博士前期課程では、講義・演習・研究指導を組み合わせたカリキュラムを作成している。「講義」では、教育学の当該領域（教育哲学、教育史、教育社会学、国際教育学など）における主要テーマについて理解する。「演習」では、特定トピックについての議論による理解の深化や、調査研究スキルの獲得を目指す。また、自研究科内の他専攻開設科目や、8単位まで他研究科開設の科目を履修することも出来る。これらの科目を受講することにより、社会の様々な事象に関する情報収集力、そして幅広い学識と柔軟かつ多角的な思考力・分析力を身につける。
2. 本課程では、英語による科目を開設し、他研究科とのクロス・リスティング、国連大学の委託聴講制度等を活用することで、学びの場における多様性を確保する。さらに、国内外でフィールド体験・研修を実施する。留学で卒業のための単位を一定数取得することもできる。これらにより、他者への共感力と創造性、そして問題解決のための実行力を磨く。
3. 課程履修期間中は、指導教員および必要に応じて複数の教員から個別に指導を受けることで、研究能力を向上させる。学生は、2年次の春学期に研究概要を提出し、中間発表会において口頭で説明する。教育学専攻の所属教員および他の大学院生から研究内容についてのフィードバックを得ることで、研究論文の質を高める。

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 本博士後期課程では、関連領域の講義・演習科目を開設する。これらの科目では、領域における基礎的事項を確認すると同時に、特定のトピックについて少人数クラスで議論を行い、その理解を深める。また、これらの科目履修により、研究実践スキルの向上、および自身の研究計画の精緻化を図る。
2. これらの科目に加えて、学生は、博士論文作成のための論文演習・研究指導科目を履修させる。課程履修期間を通じて、指導教員から博士論文執筆や研究成果の発信（学術誌への投稿、学会での口頭発表など）についての個別指導を受けさせる。
3. さらに、専任教員3名からなる指導委員会が設置され、修学期間中の研究指導を受けることが出来る。指導委員会のメンバーは、学生の研究課題や調査研究手法を考慮して構成される。この体制により、学生は、多様な角度から指導を受けながら、研究と博士論文の執筆を進めることが出来る。講義・演習科目の履修と研究指導を有機的に結び付けたこれらの学びにより、専門分野における情報収集・分析能力、および研究能力を獲得し、自立した研究者としての能力を身につけさせる。

心理学専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、心と行動の仕組みとその働きを理解し、心理学の専門的知識と技能を用いて、広く社会に貢献できる人を育てるために、臨床心理学コース、基礎心理学コースの2つのコースを設け、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 心理学の専門家としての基盤を作るために、1年次、2年次に、研究法に関する科目、各心理学の専門領域に関する科目を開設する。
2. 学修の成果を研究活動として結実させるために、1年次、2年次の2年間を通して、論文演習を開設する。
3. 臨床心理学コースにおいては、臨床心理士として必要とされるさまざまな知識や技能を具体的な臨床事例に即して得、実習や実践を通してより一層深められるよう必修科目を開設する。
4. 学部生の指導やチューターをする中で、自分自身の学びを深めることができる実習科目を開設する。

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、「心」を探求する専門的な知識と経験を、総合的視野に立って駆使し、研究者・教育者・臨床家として社会に貢献できるよう、心理学の基礎から応用にわたる研究法、高度な先端的知識を身につけるよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 心理学の研究者・教育者・臨床家として必要な先端的知識、専門的スキルを修得し、それを様々な場で発信することができるように、1年次から3年次にかけて、講義科目と演習形式による論文演習を開設する。
2. 博士論文の構想発表までに、査読論文2本を書く。このためには、学会などの様々な機会を通して、自らの研究を発表し、他の研究者との研鑽をしていく。
3. 学部生、博士前期課程の学生に対する心理学研究法などのチューターを通して、心理学の知識や技能をより深めるとともに、研究者・教育者・臨床家として、それを他者に伝えるための技能を得させる。
4. がん医療関連科目として4大学院連携（上智大学、東京慈恵会医科大学、昭和大学、星薬科大学）の連携授業を履修することを認める。

社会学専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、社会現象のメカニズムを分析・理解する能力を獲得するために、社会学理論と社会調査法の基礎科目および現代社会の重要な諸側面を扱う幅広い専門科目を配置して、以下のようにカリキュラムを編成しています。

1. 理論的及び経験的知識の修得のため必修科目である社会学理論及び専門科目を1年次春学期から配置する。

2. 社会学的研究課題を設定する能力の修得のため必修科目である社会学方法論及び関連専門科目を1年次春学期から配置する。
3. 社会調査法の知識と運用能力の修得のため必修科目である社会学方法論及び専門社会調査士科目を1年次秋学期から配置する。
4. 修士論文執筆と口頭報告の能力の修得のため2年次春学期から指導教員による論文演習及び合同研究報告会を配置する。
5. 研究を現実の社会問題に応用する能力を修得するため専門科目においてディスカッションや実習を実施するとともに、関連学会への参加を促進する。

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、社会現象のメカニズムを高度な水準で分析・理解し研究論文を執筆する能力を獲得するために、社会学理論と社会調査法の科目および現代社会の重要な諸側面を扱う幅広い専門科目を配置し、以下のようにカリキュラムを編成しています。

1. 博士論文執筆に必要となる高度な理論的及び経験的知識の修得のため専門科目を配置する。
2. 専門的研究課題を設定する能力の修得のため専門科目を配置する。
3. 高度な社会調査を自ら実施する能力の修得のため専門社会調査士科目及び関連専門科目を配置する。
4. 博士論文執筆と内外の学会での口頭報告の能力の修得のため指導教員による研究指導及び合同研究報告会を配置するとともに、関連学会での報告や学会誌への投稿を促進する。
5. 研究を政策的提言に応用する能力を高めるため学際的研究と関連学会での研究発表を促進する。

社会福祉学専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、狭義の社会福祉を超えた新しい福祉社会の実現に貢献する人材育成のために、「研究者養成プログラム」と「高度福祉専門職養成プログラム」を用意し、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. コアカリキュラムの「社会福祉研究法基礎」、「福祉政策運営管理研究法基礎」、「福祉臨床研究法基礎」を通して、社会福祉学で求められる多角的な研究法を学ぶ。
2. 「福祉政策・運営管理系科目」と「福祉臨床系科目」を通して、社会福祉学で必要とされる幅広い領域を学ばせる。
3. 「社会福祉フィールドワーク」と「援助事例分析」「社会政策・経営事例分析」を通して、理論と実践の統合を行い、現状や課題を多角的に分析する力をつけさせる。
4. 「研究者養成プログラム」では、コアカリキュラムにより研究法を深めるとともに、英語開設科目を通して英語による研究発信の方法・技術を学ばせる。
5. 「高度福祉専門職養成プログラム」では、おもに臨床や福祉各分野・課題に関する科目を通して福祉臨床の知識・技術を実践的に学ばせる。
6. 上記のカリキュラムおよび研究指導を通して修士論文をまとめ、その審査および最終試験に備えさせる。

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、新しい福祉社会の実現に向けて国際的にも貢献できる人材育成のために、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 指導教員による研究指導のもと、国内外の先行研究レビューや調査実施等により、研究のテーマ・方法を絞り込み研究を進めていく。
2. 福祉政策・運営管理系および福祉臨床系のコースワークを通して、社会福祉学の研究を進めるうえで求められる多角的な視点や研究方法を学ばせる。
3. 英語開設科目を通して英語による研究の発信や議論についての方法・技術を学ばせる。
4. 上記の研究指導およびカリキュラム、さらにコースワークの研究法特殊講義を通して博士学位申請論文をまとめ、その審査および最終試験に備えさせる。

看護学専攻

【修士課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、国内外の医療健康問題の動向における重要課題に鑑み、「共生支援」のキーワードにもとづいて、良質のケアリングにかかわる発展的かつ実践的な研究を行うために、以下のようにカリキュラムを編成しています。

1. 看護研究に関する基礎力を充実させる科目を開設する。
2. ケアリングについて考究する科目を開設する。
3. 自己が研究を通して深めたい専門看護学に関する科目を開設する。
4. 自己が研究を通して深めたい専門看護学を支持する科目を開設する。
5. 修士論文執筆とプレゼンテーション能力の修得のため 1 年次春学期から指導教員による演習を行い、研究計画検討会、修士論文発表会を配置する。

教育学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
・必修科目	4		
└論文演習Ⅰ	2		
└論文演習Ⅱ	2		
・選択科目	26		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			2単位まで修了に必要な単位として認める。
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中毎学期登録される。 4科目以上合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻ガイダンスで配布する「博士前期課程の研究スケジュール（指針）」にて, 詳細を確認すること。

【修士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために, 提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

- 1) 研究の内容が教育研究に寄与し, オリジナリティを有すること。
- 2) 研究テーマが十分に絞り込まれた明確なものであること。
- 3) 先行研究が十分に参照され, 明記されていること。引用が正確になされていること。
データが適切に処理されていること。
- 4) 論文の構成が組織立っており, 論理が明晰で, 論旨が一貫していること。
- 5) 論文の言語表現が的確で正しいこと。また, 目次, 註などに関する体裁が整っていること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
教育哲学講義			2
教育哲学演習			2
教育哲学特殊講義 I			2
SPECIAL SEMINAR IN PHILOSOPHY OF EDUCATION 2			2
日本教育史講義			2
日本教育史演習			2
日本教育史特殊講義 I			2
日本教育史特殊講義 II			2
教育方法学講義			2
教育方法学演習			2
教育方法学特殊講義 I			2
教育方法学特殊講義 II			2
学校臨床社会学講義			2
学校臨床社会学演習			2
学校臨床社会学特殊講義 I			2
学校臨床社会学特殊講義 II			2
学校教育学講義			2
学校教育学演習			2
SPECIAL SEMINAR IN EDUCATIONAL THEORY AND SCHOOLING 1			2
学校教育学特殊講義 II			2
教育社会学講義			2
教育社会学演習			2
教育社会学特殊講義 I			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
SPECIAL SEMINAR IN SOCIOLOGY OF EDUCATION 2			2
LECTURE IN INTERNATIONAL EDUCATION			2
SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATION			2
SPECIAL SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATION 1			2
国際教育学特殊講義 II			2
LECTURE IN INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT			2
SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT			2
SPECIAL SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT 1			2
SPECIAL SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT 2			2
LECTURE IN COMPARATIVE EDUCATION			2
SEMINAR IN COMPARATIVE EDUCATION			2
HISTORY OF JAPAN'S EDUCATIONAL DEVELOPMENT			2
論文演習 I (前期)			2
論文演習 II (前期)			2
(他) GLOBAL POLITICS ※			2
(他) GLOBAL MIGRATION ※			2
(他) HUMAN RIGHTS ※			2
(他) ECONOMICS OF DEVELOPMENT AND POVERTY ※			2

※ グローバル社会専攻開講科目

3. 履修上の注意

- 1) 4月の教育学専攻ガイダンスで、専攻主任から研究スケジュールの説明を受けること。その際に、希望する指導教員の名前を届け出ること。決まっていない場合は、専攻主任と相談すること。
- 2) 担当教員の「研究指導」(必修)は在学中每学期登録される。4科目以上合格すること。
- 3) 同一名の科目であっても、年度によって授業内容が変わるものは、重複して履修することができ、単位として認定される。
- 4) 1年次の1月末までに、指導教員の指導の下に「博士前期課程学位論文(修士論文)作成計画書」を作成し、教育学専攻事務担当者を通じて教育学専攻主任に提出すること。
- 5) 2年次に指導教員の「論文演習 I・II」を必ず受講すること。
- 6) 修士論文提出予定者は、修士論文を提出する学期の履修登録期間中に、必ず「修士論文」を登録すること。
- 7) 2年次の7月に開催される修士論文中間発表会に出席し、それまでの研究成果を発表すること。
- 8) 2年次の1月中旬の期日までに修士論文、および修士論文の要旨を教育学専攻事務担当者に提出すること。
- 9) 分野横断型の科目として、2022年度から新たに「分野横断研究法：原理と技法」が開設される。
本科目は心理学専攻開講のため、修得した単位は、自研究科他専攻科目(選択科目)として修了に必要な単位数に算入される。

定員 30名の抽選科目となるため、抽選エントリーの期間や方法、抽選後の先着順での登録方法等については、2022年度履修要覧〔ガイド・資料編〕p.31を参照すること。また、履修登録を行わずに授業に出席することはできないため、履修希望者は忘れずに抽選エントリーを行うこと。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
MHED7010	春	教育哲学講義	EDU504-81j00	2	鈴木 宏		後期課程科目「教育哲学上級講義」との合併科目
MHED7020	秋	教育哲学演習	EDU602-81j00	2	鈴木 宏		後期課程科目「教育哲学上級演習」との合併科目
MHED7030	春	教育哲学特殊講義 I	EDU505-81j00	2	* 藤井 佳世		
MHED7040	春	SPECIAL SEMINAR IN PHILOSOPHY OF EDUCATION 2	EDU506-81e00	2	* SATO Kunimasa	○	
MHED7070	春	日本教育史講義	EDU507-81j00	2	湯川 嘉津美		後期課程科目「日本教育史上級講義」との合併科目
MHED7080	秋	日本教育史演習	EDU603-81j00	2	湯川 嘉津美		後期課程科目「日本教育史上級演習」との合併科目
MHED7090	休講	日本教育史特殊講義 I	EDU508-81j00	2			
MHED7100	休講	日本教育史特殊講義 II	EDU509-81j00	2			
MHED7130	春	教育方法学講義	EDU522-81j00	2	奈須 正裕		後期課程科目「教育方法学上級講義」との合併科目
MHED7140	秋	教育方法学演習	EDU610-81j00	2	奈須 正裕		後期課程科目「教育方法学上級演習」との合併科目
MHED7150	休講	教育方法学特殊講義 I	EDU523-81j00	2			
MHED7160	春	教育方法学特殊講義 II	EDU524-81j00	2	* 田中 治彦		
MHED7190	春	学校臨床社会学講義	EDU501-81j00	2	酒井 朗		後期課程科目「学校臨床社会学上級講義」との合併科目
MHED7200	秋	学校臨床社会学演習	EDU601-81j00	2	酒井 朗		後期課程科目「学校臨床社会学上級演習」との合併科目
MHED7210	休講	学校臨床社会学特殊講義 I	EDU502-81j00	2			
MHED7220	春	学校臨床社会学特殊講義 II	EDU503-81j00	2	* 額賀 美紗子		
MHED7250	春	学校教育学講義	EDU510-81j00	2	上野 正道		後期課程科目「学校教育学上級講義」との合併科目
MHED7260	秋	学校教育学演習	EDU604-81j00	2	上野 正道		後期課程科目「学校教育学上級演習」との合併科目
MHED7270	春	SPECIAL SEMINAR IN EDUCATIONAL THEORY AND SCHOOLING 1	EDU511-81e00	2	* SUZUKI Yuta	○	
MHED7280	秋	学校教育学特殊講義 II	EDU512-81j00	2	* 張 建		
MHED7310	1Q	教育社会学講義	EDU513-81j00	2	相澤 真一		後期課程科目「教育社会学上級講義」との合併科目
MHED7320	秋	教育社会学演習	EDU605-81j00	2	相澤 真一		後期課程科目「教育社会学上級演習」との合併科目
MHED7330	春	教育社会学特殊講義 I	EDU514-81j00	2	* 濱中 淳子		
MHED7340	秋	SPECIAL SEMINAR IN SOCIOLOGY OF EDUCATION 2	EDU515-81e00	2	* MORI Izumi	○	
MHED7430	春	LECTURE IN INTERNATIONAL EDUCATION	EDU530-81e00	2	SUGIMURA Miki	○	後期課程科目「ADVANCED LECTURE IN INTERNATIONAL EDUCATION」との合併科目
MHED7440	春	SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATION	EDU610-81e00	2	SUGIMURA Miki	○	後期課程科目「ADVANCED SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATION」との合併科目
MHED7450	春	SPECIAL SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATION 1	EDU517-81e00	2	* SAKAGUCHI Midori	○	
MHED7460	秋	国際教育学特殊講義 II	EDU518-81j00	2	* 吉川 裕美子		
MHED7490	秋	LECTURE IN INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT	EDU531-81e00	2	KOMATSU Taro	○	後期課程科目「ADVANCED LECTURE IN INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT」との合併科目
MHED7500	秋	SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT	EDU611-81e00	2	KOMATSU Taro	○	後期課程科目「ADVANCED SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT」との合併科目

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
MHED7470	春	SPECIAL SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT 1	EDU533-81e00	2	* OHBA Asayo	○	
MHED7480	秋	SPECIAL SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT 2	EDU534-81e00	2	* HAYASHI Makiko	○	
MHED7540	春	LECTURE IN COMPARATIVE EDUCATION	EDU526-81e00	2	MANZON Maria	○	後期課程科目「ADVANCED LECTURE IN COMPARATIVE EDUCATION」との合併科目
MHED7530	秋	SEMINAR IN COMPARATIVE EDUCATION	EDU612-81e00	2	MANZON Maria	○	後期課程科目「ADVANCED SEMINAR IN COMPARATIVE EDUCATION」との合併科目
MHED7550	秋	HISTORY OF JAPAN'S EDUCATIONAL DEVELOPMENT	EDU613-81e00	2	UMEMIYA Naoki	○	
MHED2731	春	論文演習 I (前期)	EDU607-81j00	2	鈴木 宏		M2 対象
MHED2732	秋	論文演習 II (前期)	EDU608-81j00	2	鈴木 宏		M2 対象
MHED2741	春	論文演習 I (前期)	EDU607-81j00	2	湯川 嘉津美		M2 対象
MHED2742	秋	論文演習 II (前期)	EDU608-81j00	2	湯川 嘉津美		M2 対象
MHED2771	春	論文演習 I (前期)	EDU607-81j00	2	奈須 正裕		M2 対象
MHED2772	秋	論文演習 II (前期)	EDU608-81j00	2	奈須 正裕		M2 対象
MHED2791	春	論文演習 I (前期)	EDU607-81j00	2	酒井 朗		M2 対象
MHED2792	秋	論文演習 II (前期)	EDU608-81j00	2	酒井 朗		M2 対象
MHED2751	春	論文演習 I (前期)	EDU607-81j00	2	上野 正道		M2 対象
MHED2752	秋	論文演習 II (前期)	EDU608-81j00	2	上野 正道		M2 対象
MHED2761	春	論文演習 I (前期)	EDU607-81j00	2	相澤 真一		M2 対象
MHED2762	秋	論文演習 II (前期)	EDU608-81j00	2	相澤 真一		M2 対象
MHED2801	春	論文演習 I (前期)	EDU607-81j00	2	杉村 美紀		M2 対象
MHED2802	春	論文演習 II (前期)	EDU608-81j00	2	杉村 美紀		M2 対象
MHED2811	秋	論文演習 I (前期)	EDU607-81j00	2	小松 太郎		M2 対象
MHED2812	秋	論文演習 II (前期)	EDU608-81j00	2	小松 太郎		M2 対象
MHED2821	春	論文演習 I (前期)	EDU607-81e00	2	MANZON Maria	○	M2 対象
MHED2822	秋	論文演習 II (前期)	EDU608-81e00	2	MANZON Maria	○	M2 対象
MHED9491	春	修士論文	EDU699-81j00	0	教育学専攻各指導教員		M2 対象, 9月修了者対象
MHED9490	秋	修士論文	EDU699-81j00	0	教育学専攻各指導教員		M2 対象

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
EDU599-81j00	鈴木 宏	
	湯川 嘉津美	
	奈須 正裕	
	酒井 朗	
	上野 正道	
	相澤 真一	
	杉村 美紀	
	小松 太郎	
EDU599-81e00	MANZON Maria	

教育学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【18年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	18		
授業科目			
▶必修科目	12		
└論文演習Ⅰ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
└論文演習Ⅱ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
▶選択科目	6	3	
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

【17年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	12		
授業科目			
▶必修科目	12		
└論文演習Ⅰ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
└論文演習Ⅱ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
▶選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

【16年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	12		
授業科目			
▶必修科目	12		
└論文演習Ⅰ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
└論文演習Ⅱ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
▶選択科目			
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻ガイダンスで配布する「博士後期課程の研究スケジュール（指針）」にて, 詳細を確認すること。

【博士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

- 1) 研究の内容が教育研究に寄与し、オリジナリティを有すること。
- 2) 研究テーマが絞り込まれた明確なものであること。
- 3) 国内外の先行研究が網羅的に参照され、明記されていること。引用が正確になされていること。データが適切に処理されていること。
- 4) 論文の構成が組織立っており、論理が明晰で、論旨が一貫していること。
- 5) 論文の言語表現が的確で正しいこと。また、目次、註などに関する体裁が整っていること。
- 6) 当該分野における先端的研究として位置づけられ、執筆者が自立的な研究者として研究を遂行する能力を証するものであること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
教育哲学上級講義			2
日本教育史上級講義			2
教育方法学上級講義			2
学校臨床社会学上級講義			2
学校教育学上級講義			2
教育社会学上級講義			2
ADVANCED LECTURE IN INTERNATIONAL EDUCATION			2
ADVANCED LECTURE IN INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT			2
ADVANCED LECTURE IN COMPARATIVE EDUCATION			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
教育哲学上級演習			2
日本教育史上級演習			2
教育方法学上級演習			2
学校臨床社会学上級演習			2
学校教育学上級演習			2
教育社会学上級演習			2
ADVANCED SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATION			2
ADVANCED SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT			2
ADVANCED SEMINAR IN COMPARATIVE EDUCATION			2
論文演習Ⅰ（後期）※	2		
論文演習Ⅱ（後期）※	2		

※「論文演習Ⅰ・Ⅱ（後期）」については、毎年4単位、3年間で合計12単位を履修する。

3. 履修上の注意

- 1) 4月の教育学専攻ガイダンスで、専攻主任から研究スケジュールの説明を受けること。その際に、希望する指導教授の名前を届け出ること。
- 2) 指導教授の「論文演習Ⅰ・Ⅱ」を、毎年必ず受講すること。12単位（4単位×3年）を必修とする。
- 3) 「研究指導」（必修）は、在学中毎学期登録される。なお、2017年次生以降の学生については、6科目以上合格すること。
- 4) 2018年次生以降の学生は、「上級講義」「上級演習」の各科目の中から選択科目として3科目6単位履修すること。同一名の科目であっても、年度によって授業内容が変わるものは、重複して履修することができ、単位として認定される。
- 5) 教育学専攻博士前期課程の選択科目は履修することができ、修得単位として認めるが、修了要件にはならない。（p.118～p.119参照のこと）
- 6) 指導教授の指導の下に、1年次10月までに研究計画を立案すること。指導教授は他に2名の指導委員を依頼し、「指導委員会」を構成するものとする。
- 7) 立案した研究計画をもとに、指導委員会の第一次審査を受けること。
- 8) 第一次審査に合格した者で、2つ以上の論文を学術雑誌に掲載又は採録されている者は、指導教授の指示により第二次審査を申請することができる。
- 9) 第二次審査を希望する者は、研究計画書（A4判、枚数任意）、研究業績目録（学会発表を含む）、公表論文の抜き刷り1部を指導教授に提出すること。
- 10) 博士論文の提出に関しては、「上智大学学位規程教育学専攻内規（課程博士）」に従って、所定の手続きをとること。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
DHED7011	春	教育哲学上級講義	EDU803-81j00	2	鈴木 宏		前期課程科目「教育哲学講義」との合併科目
DHED7012	秋	教育哲学上級演習	EDU804-81j00	2	鈴木 宏		前期課程科目「教育哲学演習」との合併科目
DHED7021	春	日本教育史上級講義	EDU805-81j00	2	湯川 嘉津美		前期課程科目「日本教育史講義」との合併科目
DHED7022	秋	日本教育史上級演習	EDU806-81j00	2	湯川 嘉津美		前期課程科目「日本教育史演習」との合併科目
DHED7031	春	教育方法学上級講義	EDU807-81j00	2	奈須 正裕		前期課程科目「教育方法学講義」との合併科目
DHED7032	秋	教育方法学上級演習	EDU808-81j00	2	奈須 正裕		前期課程科目「教育方法学演習」との合併科目
DHED7041	春	学校臨床社会学上級講義	EDU817-81j00	2	酒井 朗		前期課程科目「学校臨床社会学講義」との合併科目
DHED7042	秋	学校臨床社会学上級演習	EDU818-81j00	2	酒井 朗		前期課程科目「学校臨床社会学演習」との合併科目
DHED7051	春	学校教育学上級講義	EDU809-81j00	2	上野 正道		前期課程科目「学校教育学講義」との合併科目
DHED7052	秋	学校教育学上級演習	EDU810-81j00	2	上野 正道		前期課程科目「学校教育学演習」との合併科目
DHED7061	1Q	教育社会学上級講義	EDU811-81j00	2	相澤 真一		前期課程科目「教育社会学講義」との合併科目
DHED7062	秋	教育社会学上級演習	EDU812-81j00	2	相澤 真一		前期課程科目「教育社会学演習」との合併科目
DHED7071	春	ADVANCED LECTURE IN INTERNATIONAL EDUCATION	EDU821-81e00	2	SUGIMURA Miki	○	前期課程科目「LECTURE IN INTERNATIONAL EDUCATION」との合併科目
DHED7072	春	ADVANCED SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATION	EDU822-81e00	2	SUGIMURA Miki	○	前期課程科目「SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATION」との合併科目
DHED7081	秋	ADVANCED LECTURE IN INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT	EDU823-81e00	2	KOMATSU Taro	○	前期課程科目「LECTURE IN INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT」との合併科目
DHED7082	秋	ADVANCED SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT	EDU824-81e00	2	KOMATSU Taro	○	前期課程科目「SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT」との合併科目
DHED7091	春	ADVANCED LECTURE IN COMPARATIVE EDUCATION	EDU820-81e00	2	MANZON Maria	○	前期課程科目「LECTURE IN COMPARATIVE EDUCATION」との合併科目
DHED7092	秋	ADVANCED SEMINAR IN COMPARATIVE EDUCATION	EDU819-81e00	2	MANZON Maria	○	前期課程科目「SEMINAR IN COMPARATIVE EDUCATION」との合併科目
DHED3021	春	論文演習Ⅰ(後期)	EDU801-81j00	2	湯川 嘉津美		
DHED3022	秋	論文演習Ⅱ(後期)	EDU802-81j00	2	湯川 嘉津美		
DHED3051	春	論文演習Ⅰ(後期)	EDU801-81j00	2	奈須 正裕		
DHED3052	秋	論文演習Ⅱ(後期)	EDU802-81j00	2	奈須 正裕		
DHED3071	春	論文演習Ⅰ(後期)	EDU801-81j00	2	酒井 朗		
DHED3072	秋	論文演習Ⅱ(後期)	EDU802-81j00	2	酒井 朗		
DHED3031	春	論文演習Ⅰ(後期)	EDU801-81j00	2	上野 正道		
DHED3032	秋	論文演習Ⅱ(後期)	EDU802-81j00	2	上野 正道		
DHED3041	春	論文演習Ⅰ(後期)	EDU801-81j00	2	相澤 真一		
DHED3042	秋	論文演習Ⅱ(後期)	EDU802-81j00	2	相澤 真一		
DHED3081	春	論文演習Ⅰ(後期)	EDU801-81j00	2	杉村 美紀		
DHED3082	春	論文演習Ⅱ(後期)	EDU802-81j00	2	杉村 美紀		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
DHED3091	秋	論文演習Ⅰ(後期)	EDU801-81j00	2	小松 太郎		
DHED3092	秋	論文演習Ⅱ(後期)	EDU802-81j00	2	小松 太郎		
DHED3061	春	論文演習Ⅰ(後期)	EDU801-81e00	2	MANZON Maria	○	
DHED3062	秋	論文演習Ⅱ(後期)	EDU802-81e00	2	MANZON Maria	○	

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
EDU899-81j00	湯川 嘉津美	
	奈須 正裕	
	酒井 朗	
	上野 正道	
	相澤 真一	
	杉村 美紀	
	小松 太郎	
EDU899-81e00	MANZON Maria	

心理学専攻 博士前期課程 基礎心理学コース

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	34		
授業科目			
▶ 必修科目	8		
└ 論文演習Ⅰ (前期)	4	2	2年間 (2回) 履修すること
└ 論文演習Ⅱ (前期)	4	2	2年間 (2回) 履修すること
▶ 選択必修科目	8		
▶ 選択科目	18		
└ 自専攻科目			
└ 自研究科他専攻科目			
└ 委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる。 ※ただし, 国連大学委託聴講科目は認められない。
研究指導 (必修)		4	単位なし, 在学中毎学期登録される。 4科目以上合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻ガイダンスで配布する「博士前期課程における研究スケジュール」にて, 詳細を確認すること。

【修士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために, 提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

- 1) 問題設定: 問題意識が明確で, 課題設定が適切であること。
- 2) 先行研究の理解: 先行研究を適切に検討, 吟味していること。
- 3) 研究方法・分析方法: 研究目的に対し, 研究方法等が適切であること。
- 4) 論文構成: 論文構成が的確で, 論理展開に整合性, 一貫性があること。
- 5) 研究の位置づけ: 当該分野, 領域における社会的・学術的な意義が認められること。
- 6) 倫理的配慮: 研究方法の適切性に留意し, 研究対象に対する適切な倫理的配慮を行っていること。各種学会, 大学等が定める倫理基準を満たしたものであること。
- 7) 形式面: 以下の形式面が整っていること。
 1. 章・節の構成が適切であり, 目次を見ることで全体の論旨が予想できること。
 2. 文章が明快で, 論旨が明確に理解可能であること。
 3. 引用が適切で, 引用文献表がきちんと整えられていること。
 4. 論文, 引用の基本的体裁が「アメリカ心理学会出版マニュアル」および日本心理学会の「執筆・投稿の手引き」に準拠したものであること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
論文演習Ⅰ（前期）	2		
論文演習Ⅱ（前期）	2		
心理測定学特殊研究Ⅰ		2	
心理測定学特殊研究Ⅱ		2	
認知心理学特殊研究Ⅰ		2	
認知心理学特殊研究Ⅱ		2	
生理心理学特殊研究Ⅰ		2	
生理心理学特殊研究Ⅱ		2	
発達心理学特殊研究Ⅰ		2	
発達心理学特殊研究Ⅱ		2	
社会心理学特殊研究Ⅰ		2	
社会心理学特殊研究Ⅱ		2	
老年心理学特殊研究		2	
コミュニティ心理学特殊研究		2	
人間関係特論 ※注3		2	
人間関係特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）※注4		2	
家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践		2	
福祉心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）			2
司法・犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）			2

※注1：言語学専攻開講科目

※注2：社会福祉学専攻開講科目

※注3：2017年度まで開講

※注4：2020年度まで開講

科目名 ※（他）：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
心理学研究法演習			2
心理学各論特殊研究 ※注3		2	
心理統計法特論			2
教育臨床特論 ※注3			2
教育臨床特論（教育分野に関する理論と支援の展開）			2
産業心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）			2
心の健康教育特論（心の健康教育に関する理論と実践）			2
心理学基礎実習Ⅰ			1
心理学基礎実習Ⅱ			1
心理学特殊実習Ⅰ			1
心理学特殊実習Ⅱ			1
分野横断研究法：原理と技法			2
（他）失語・高次脳機能障害学特論A※注1	2		
（他）失語・高次脳機能障害学特論B※注1	2		
（他）言語障害研究特殊講義F（学習障害）※注1	2		
（他）臨床医学特論D（神経系の基礎と病態・内科学）※注1			2
（他）臨床医学特論E（発達障害医学・脳性麻痺）※注1			2
（他）言語聴覚病理学特論（医学概論・解剖学・生理学・病理学）※注1			2
（他）児童福祉学 ※注2		2	
（他）精神保健福祉研究 ※注2		2	
（他）コミュニティオーガニゼーション研究 ※注2		2	

3. 履修上の注意

下記に従って合計34単位以上を修得し、指導教員の指導のもとに修士論文を作成・提出することが必要である。

○ 全ての科目は繰り返し履修することが可能であり、修了に必要な単位として認められる。

- 必修8単位：「論文演習Ⅰ（前期）」及び「論文演習Ⅱ（前期）」をそれぞれ2年間履修する。
- 「研究指導」（必修）は在学中毎学期登録される。なお、2017年次生以降の学生については、4科目以上合格すること。
- 選択必修8単位：指導教員の指定する科目を履修する（選択必修科目の余剰単位は、選択科目の単位に充当することができる）。
- 選択18単位
- 在学中、臨床心理学コースへのコース変更は認められない。また、以下の科目は臨床心理学コース対象科目のため、履修できない。

【臨床心理学コース対象科目】

臨床心理学特論Ⅰ・Ⅱ、臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）、臨床心理面接特論Ⅱ、臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）、臨床心理査定演習Ⅱ、臨床心理基礎実習Ⅰ・Ⅱ、臨床心理実習Ⅰ、臨床心理実習Ⅱ、臨床心理学研究法演習、精神医学特殊研究（保健医療分野に関する理論と支援の展開）、認知行動療法特殊研究、精神分析特殊研究、臨床人格心理学特殊研究、臨床心理学特殊実習Ⅰ・Ⅱ（心理実践実習）、グループ・アプローチ特論

- 6) 「心理学特殊実習Ⅰ」及び「心理学特殊実習Ⅱ」を履修しようとする者は、各学期初めに専攻主任に届出し、承認を得た後に履修することができる。
- 7) 「心理学基礎実習Ⅰ」及び「心理学基礎実習Ⅱ」を履修しようとする者は、あらかじめ指導教員と相談すること。
- 8) 学年初めの心理学専攻ガイダンスでの説明、およびガイダンス資料に十分留意し、ここで提示される研究指導の説明に従って研究を進めること。
- 9) 不明な点は指導教員と相談の上、履修を行うこと。
- 10) 前期課程在籍者で、やむをえず9月修了を希望する者は、修了予定年度の前年度末までに理由を説明する願い書(書式は自由)を専攻主任に提出し、専攻会議の承認を受けること。
- 11) 修士論文提出予定者は、2年次に、4月に開催される修士論文中間発表会に出席し、それまでの研究成果と今後の計画を発表すること。
- 12) 毎年度末に、専攻の定める「研究報告書」を提出すること。
- 13) 分野横断型の科目として、2022年度から新たに「分野横断研究法：原理と技法」が開設される。
本科目は心理学専攻開講のため、修得した単位は、自専攻科目(選択科目)として修了に必要な単位に算入される。定員30名の抽選科目となるため、抽選エントリーの期間や方法、抽選後の先着順での登録方法等については、2022年度履修要覧〔ガイド・資料編〕P.31を参照すること。また、履修登録を行わずに授業に出席することはできないため、履修希望者は忘れずに抽選エントリーを行うこと。

【同一科目対照表】

下記の科目は科目名・単位数・担当者が異なっても変更前と変更後の科目は同一科目とみなす。

変更前		変更後		
科目名	開講年度	科目名	開講年度	備考
人間関係特論	～2017	人間関係特論 (家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	2018～	選択必修
人間関係特論 (家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	～2020	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	2021～	選択必修
教育臨床特論	～2017	教育臨床特論 (教育分野に関する理論と支援の展開)	2018～	選択

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
MHPS1311	春	論文演習Ⅰ(前期)	PSY501-82j00	2	岡田 隆		
MHPS1321	春	論文演習Ⅰ(前期)	PSY501-82j00	2	毛利 伊吹		
MHPS1331	春	論文演習Ⅰ(前期)	PSY501-82j00	2	齋藤 慈子		
MHPS1341	春	論文演習Ⅰ(前期)	PSY501-82j00	2	吾妻 壮		
MHPS1351	春	論文演習Ⅰ(前期)	PSY501-82j00	2	道又 爾		
MHPS1361	春	論文演習Ⅰ(前期)	PSY501-82j00	2	松田 修		
MHPS1371	春	論文演習Ⅰ(前期)	PSY501-82j00	2	久田 満		
MHPS1381	春	論文演習Ⅰ(前期)	PSY501-82j00	2	横山 恭子		
MHPS1391	春	論文演習Ⅰ(前期)	PSY501-82j00	2	廣瀬 英子		
MHPS1401	春	論文演習Ⅰ(前期)	PSY501-82j00	2	吉村 聡		
MHPS1421	春	論文演習Ⅰ(前期)	PSY501-82j00	2	樋口 匡貴		
MHPS6230	休講	心理測定学特殊研究Ⅰ	PSY523-82j00	2	廣瀬 英子		後期課程「心理測定学上級研究」との合併科目
MHPS6250	春	認知心理学特殊研究Ⅰ	PSY525-82j00	2	道又 爾		後期課程「認知心理学上級研究」との合併科目
MHPS6290	春	生理心理学特殊研究Ⅰ	PSY529-82j00	2	岡田 隆		
MHPS6310	春	発達心理学特殊研究Ⅰ	PSY531-82j00	2	齋藤 慈子		
MHPS6330	春	社会心理学特殊研究Ⅰ	PSY533-82j00	2	樋口 匡貴		後期課程「社会心理学上級研究」との合併科目
MHPS6360	春	コミュニティ心理学特殊研究	PSY536-82j00	2	久田 満		後期課程「コミュニティ心理学上級研究」との合併科目
MHPS7390	春	心理学研究法演習	PSY553-82j00	2	樋口 匡貴 岡田 隆 齋藤 慈子		後期課程「心理学研究法上級研究」との合併科目
MHPS7410	春	心理統計法特論	PSY541-82j00	2	* 萩生田 伸子		
MHPS7430	春	心理学基礎実習Ⅰ	PSY551-82j00	1	久田 満		
MHPS7450	春	心理学特殊実習Ⅰ	PSY556-82j00	1	岡田 隆		
MHPS7510	春	心理学特殊実習Ⅰ	PSY556-82j00	1	齋藤 慈子		
MHPS7550	春	心理学特殊実習Ⅰ	PSY556-82j00	1	道又 爾		
MHPS7630	休講	心理学特殊実習Ⅰ	PSY556-82j00	1	廣瀬 英子		
MHPS7700	春	心理学特殊実習Ⅰ	PSY556-82j00	1	樋口 匡貴		
MHPS7810	春	教育臨床特論 (教育分野に関する理論と支援の展開)	PSY545-82j00	2	* 伊東 孝郎		
MHPS7830	集中	産業心理学特論 (産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	PSY593-82j00	2	* 大塚 泰正 * 小林 由佳 * 渡辺 和広		2Q集中, 輪講
MHPS7840	集中	心の健康教育特論 (心の健康教育に関する理論と実践)	PSY591-82j00	2	久田 満		2Q集中
MHPS9830	春	修士論文	PSY699-82j00	0	心理学専攻教員		M2対象, 9月修了者対象
MHPS1312	秋	論文演習Ⅱ(前期)	PSY502-82j00	2	岡田 隆		
MHPS1322	秋	論文演習Ⅱ(前期)	PSY502-82j00	2	毛利 伊吹		
MHPS1332	秋	論文演習Ⅱ(前期)	PSY502-82j00	2	齋藤 慈子		
MHPS1342	秋	論文演習Ⅱ(前期)	PSY502-82j00	2	吾妻 壮		
MHPS1352	秋	論文演習Ⅱ(前期)	PSY502-82j00	2	道又 爾		
MHPS1362	秋	論文演習Ⅱ(前期)	PSY502-82j00	2	松田 修		
MHPS1372	秋	論文演習Ⅱ(前期)	PSY502-82j00	2	久田 満		
MHPS1382	秋	論文演習Ⅱ(前期)	PSY502-82j00	2	横山 恭子		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
MHPS1392	秋	論文演習Ⅱ(前期)	PSY502-82j00	2	廣瀬 英子		
MHPS1402	秋	論文演習Ⅱ(前期)	PSY502-82j00	2	吉村 聡		
MHPS1422	秋	論文演習Ⅱ(前期)	PSY502-82j00	2	樋口 匡貴		
MHPS6240	休講	心理測定学特殊研究Ⅱ	PSY524-82j00	2			「心理測定学特殊研究Ⅰ」を履修済であること
MHPS6260	秋	認知心理学特殊研究Ⅱ	PSY526-82j00	2	道又 爾		
MHPS6300	秋	PHYSIOPSYCHOLOGY 2	PSY561-82e00	2	岡田 隆	○	後期課程「ADVANCED PHYSIOPSYCHOLOGY」との合併科目
MHPS6320	秋	発達心理学特殊研究Ⅱ	PSY532-82j00	2	齋藤 慈子		後期課程「発達心理学上級研究」との合併科目
MHPS6340	秋	SOCIAL PSYCHOLOGY 2	PSY562-82e00	2	樋口 匡貴	○	
MHPS6350	秋	老年心理学特殊研究	PSY535-82j00	2	松田 修		後期課程「老年心理学上級研究」との合併科目
MHPS6380	秋	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	PSY539-82j00	2	久田 満		
MHPS6390	秋	福祉心理学特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開)	PSY592-82j00	2	* 河合 美子		
MHPS6400	秋	司法・犯罪心理学特論 (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	PSY594-82j00	2	* 室城 隆之		
MHPS7440	秋	心理学基礎実習Ⅱ	PSY552-82j00	1	齋藤 慈子		
MHPS7460	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	岡田 隆		
MHPS7520	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	齋藤 慈子		
MHPS7560	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	道又 爾		
MHPS7640	休講	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1			
MHPS7710	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	樋口 匡貴		
MHPS7900	秋	分野横断研究法:原理と技法	PSY700-82j00	2	コ)松田・池田		[30名] 分野横断プログラム
MHPS9820	秋	修士論文	PSY699-82j00	0	心理学専攻教員		M2 対象

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
PSY599-82j00	岡田 隆	
	毛利 伊吹	
	齋藤 慈子	
	吾妻 壮	
	道又 爾	
	松田 修	
	久田 満	
	横山 恭子	
	廣瀬 英子	
	吉村 聡	
	樋口 匡貴	

心理学専攻 博士前期課程 臨床心理学コース

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【19年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	34		
授業科目			
▶必修科目	24		
└論文演習Ⅰ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
└論文演習Ⅱ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
└臨床心理学特論Ⅰ	2		
└臨床心理学特論Ⅱ	2		
└臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）	2		
└臨床心理面接特論Ⅱ	2		
└臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）	2		
└臨床心理査定演習Ⅱ	2		
└臨床心理基礎実習Ⅰ	1		
└臨床心理基礎実習Ⅱ	1		
└臨床心理実習Ⅰ	1		
└臨床心理実習Ⅱ	1		
▶選択必修科目	10		
└A群	2		
└B群	2		
└C群	2		
└D群	2		
└E群	2		
▶選択科目			
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる。 ※ただし、国連大学委託聴講科目は認められない。
研究指導（必修）		4	単位なし、在学中毎学期登録される。 4科目以上合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【18 年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	34		
授業科目			
▶必修科目	24		
└論文演習Ⅰ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
└論文演習Ⅱ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
└臨床心理学特論Ⅰ	2		
└臨床心理学特論Ⅱ	2		
└臨床心理面接特論Ⅰ（心理 支援に関する理論と実践）	2		
└臨床心理面接特論Ⅱ	2		
└臨床心理査定演習Ⅰ（心理 的アセスメントに関する理論と実 践）	2		
└臨床心理査定演習Ⅱ	2		
└臨床心理基礎実習Ⅰ	1		
└臨床心理基礎実習Ⅱ	1		
└臨床心理実習Ⅰ（心理実践 実習）	1		
└臨床心理実習Ⅱ	1		
▶選択必修科目	10		
└A 群	2		
└B 群	2		
└C 群	2		
└D 群	2		
└E 群	2		
▶選択科目			
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる。 ※ただし、国連大学委託聴講科目は認められない。
研究指導（必修）		4	単位なし，在学中毎学期登録される。 4科目以上合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に 合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論 文登録をすること)

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻ガイダンスで配布する「博士前期課程における研究スケジュール」にて、詳細を確認すること。

【修士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

- 1) 問題設定：問題意識が明確で、課題設定が適切であること。
- 2) 先行研究の理解：先行研究を適切に検討、吟味していること。
- 3) 研究方法：研究目的に対し、研究方法等が適切であること。
- 4) 論文構成：論文構成が的確で、論理展開に整合性、一貫性があること。
- 5) 研究の位置づけ：当該分野、領域における社会的・学術的な意義が認められること。
- 6) 倫理的配慮：研究方法の適切性に留意し、研究対象に対する適切な倫理的配慮を行っていること。各種学会、大学等が定める倫理基準を満たしたものであること。
- 7) 形式面：以下の形式面が整っていること。
 - 1) 章・節の構成が適切であり、目次を見ることで全体の論旨が予想できること。
 - 2) 文章が明快で、論旨が明確に理解可能であること。
 - 3) 引用が適切で、引用文献表がきちんと整えられていること。
 - 4) 論文、引用の基本的体裁が「アメリカ心理学会出版マニュアル」および日本心理学会の「執筆・投稿の手引き」に準拠したものであること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
論文演習Ⅰ(前期)	2		
論文演習Ⅱ(前期)	2		
臨床心理学特論Ⅰ ※注4	2		
臨床心理学特論Ⅱ ※注4	2		
臨床心理面接特論Ⅰ (心理支援に関する理論と実践) ※注4	2		
臨床心理面接特論Ⅱ ※注4	2		
臨床心理査定演習Ⅰ (心理的アセスメントに関する理論と実践) ※注4	2		
臨床心理査定演習Ⅱ ※注4	2		
臨床心理基礎実習Ⅰ ※注4, 注5	1		
臨床心理基礎実習Ⅱ ※注4, 注5	1		
臨床心理実習Ⅰ ※注4, 注5	1		
臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習) ※注3, 4	1		
臨床心理実習Ⅱ ※注4, 注5	1		
< A群 >			
心理学研究法演習		2	
臨床心理学研究法演習 ※注4		2	
< B群 >			
認知心理学特殊研究Ⅰ		2	
認知心理学特殊研究Ⅱ		2	
発達心理学特殊研究Ⅰ		2	
発達心理学特殊研究Ⅱ		2	
心理測定学特殊研究Ⅰ		2	
心理測定学特殊研究Ⅱ		2	
< C群 >			
社会心理学特殊研究Ⅰ		2	
社会心理学特殊研究Ⅱ		2	
コミュニティ心理学特殊研究		2	
家族関係・集団・地域社会における心理支援 に関する理論と実践		2	
福祉心理学特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開)		2	
司法・犯罪心理学特論(司法・犯罪分野 に関する理論と支援の展開)		2	
(他) 精神保健福祉研究 ※注2		2	

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
< D群 >			
精神医学特殊研究(保健医療分野に関 する理論と支援の展開) ※注4		2	
生理心理学特殊研究Ⅰ		2	
生理心理学特殊研究Ⅱ		2	
老年心理学特殊研究		2	
(他) 失語・高次脳機能障害学特論A ※注1		2	
(他) 失語・高次脳機能障害学特論B ※注1		2	
(他) 言語障害研究特殊講義F(学習障害) ※注1		2	
< E群 >			
認知行動療法特殊研究 ※注4		2	
精神分析特殊研究 ※注4		2	
グループ・アプローチ特論 ※注4		2	
臨床人格心理学特殊研究 ※注4		2	
< 選択科目 >			
心理統計法特論			2
教育臨床特論 (教育分野に関する理論と支援の展開)			2
産業心理学特論 (産業・労働分野に関する理論と支援の展開)			2
心の健康教育特論 (心の健康教育に関する理論と実践)			2
心理学基礎実習Ⅰ			1
心理学基礎実習Ⅱ			1
臨床心理学特殊実習Ⅰ(心理実践実習) ※注4			1
臨床心理学特殊実習Ⅱ(心理実践実習) ※注4			1
心理学特殊実習Ⅰ			1
心理学特殊実習Ⅱ			1
分野横断研究法：原理と技法			2
(他) 臨床医学特論D(神経系の基礎と病態・内科学) ※注1			2
(他) 臨床医学特論E(発達障害医学・脳性麻痺) ※注1			2
(他) 言語聴覚病理学特論(医学概論・解剖学・生理学・病理学) ※注1			2
(他) 児童福祉学 ※注2			2
(他) コミュニティオーガニゼーション研究 ※注2			2

※注1：言語学専攻開講科目

※注2：社会福祉学専攻開講科目

※注3：2018年度のみ開講

※注4：臨床心理学コースに在籍していない学生の履修は認められない

※注5：この実習は、学内施設として総合人間科学研究科心理学専攻に設置された「上智大学臨床心理相談室」と、学外の実習協力施設で行われる。なお、学内施設における実習において学生は、相談研修員として来談者の心理相談等の実践に係る実習を行うため、実習に係る一切の事柄を、相談室スタッフ(主任相談員、相談員)を通じて、または、直接、指導教員と、相談室の運営管理および相談研修員指導の統括責任者である「相談室長」に定期的に報告し、指導を受けなければならない。

3. 履修上の注意

下記に従って合計 34 単位以上を修得し、指導教員の指導のもとに修士論文を作成・提出することが必要である。

○ 全ての科目は繰り返し履修することが可能であり、修了に必要な単位として認められる。

- 1) 必修 24 単位：「論文演習Ⅰ（前期）」及び「論文演習Ⅱ（前期）」はそれぞれ 2 年間履修する。（8 単位）
- 2) 「研究指導」（必修）は在学中毎学期登録される。4 科目以上合格すること
- 3) 選択必修科目 10 単位：A～E の各群からそれぞれ 2 単位以上ずつ履修する。
- 4) 「心理学特殊実習Ⅰ」及び「心理学特殊実習Ⅱ」を履修しようとする者は、学年初めに専攻主任に届出し、承認を得た後に履修することができる。
- 5) 「心理学基礎実習Ⅰ」及び「心理学基礎実習Ⅱ」を履修しようとする者は、あらかじめ指導教員と相談すること。
- 6) 分野横断型の科目として、2022 年度から新たに「分野横断研究法：原理と技法」が開設される。
本科目は心理学専攻開講のため、修得した単位は、自研究科他専攻科目（選択科目）として修了に必要な単位に算入される。
定員 30 名の抽選科目となるため、抽選エントリーの期間や方法、抽選後の先着順での登録方法については、2022 年度履修要覧〔ガイド・資料編〕p.31 を参照すること。また、履修登録を行わずに授業に出席することはできないため、履修希望者は忘れずに抽選エントリーを行うこと。
- 7) 学年初めの心理学専攻ガイダンスでの説明、およびガイダンス資料に十分留意し、ここで提示される研究指導の説明に従って研究を進めること。
- 8) 不明な点等は指導教員と相談の上、履修を行うこと。
- 9) 前期課程在籍者で、やむをえず 9 月修了を希望する者は、修了予定年度の前年度末までに理由を説明する願い書（書式は自由）を専攻主任に提出し、専攻会議の承認を受けること。特に臨床心理学コースの場合は臨床実習等において実務上の問題を引き起こす可能性があるため、事前に相談室長の了解を得ておくこと。
- 10) 他専攻や他コースに在学中の者が、臨床心理学コースに編入することは認められない。
- 11) 在学中、基礎心理学コースへのコース変更は認められない。
- 12) 修士論文提出予定者は、2 年次に、4 月に開催される修士論文中間発表会に出席し、それまでの研究成果と今後の計画を発表すること。
- 13) 毎年度末に、専攻の定める「研究報告書」を提出すること。

【同一科目対照表】

下記の科目は科目名・単位数・担当者が異なっても変更前と変更後の科目は同一科目とみなす。

変更前		変更後		
科目名	開講年度	科目名	開講年度	備考
臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習）	～2018	臨床心理実習Ⅰ	2019～	必修
人間関係特論 （家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	～2020	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	2021～	選択必修

【公認心理師の受験に必要な科目について】

公認心理師試験を受験するには、次の指定科目を履修しなければならない。指定科目に対応する本学での開講科目は以下の通りである。

	公認心理師指定科目	左記に対応する本学授業科目
①	保健医療分野に関する理論と支援の展開	精神医学特殊研究 (保健医療分野に関する理論と支援の展開)
②	福祉分野に関する理論と支援の展開	福祉心理学特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開)
③	教育分野に関する理論と支援の展開	教育臨床特論 (教育分野に関する理論と支援の展開)
④	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	司法・犯罪心理学特論 (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)
⑤	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	産業心理学特論 (産業・労働分野に関する理論と支援の展開)
⑥	心理的アセスメントに関する理論と実践	臨床心理査定演習 I (心理的アセスメントに関する理論と実践)
⑦	心理支援に関する理論と実践	臨床心理面接特論 I (心理支援に関する理論と実践)
⑧	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践
⑨	心の健康教育に関する理論と実践	心の健康教育特論 (心の健康教育に関する理論と実践)
⑩	心理実践実習	臨床心理学特殊実習 I, II (心理実践実習)

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
MHPS1311	春	論文演習 I (前期)	PSY501-82j00	2	岡田 隆		
MHPS1321	春	論文演習 I (前期)	PSY501-82j00	2	毛利 伊吹		
MHPS1331	春	論文演習 I (前期)	PSY501-82j00	2	齋藤 慈子		
MHPS1341	春	論文演習 I (前期)	PSY501-82j00	2	吾妻 壮		
MHPS1351	春	論文演習 I (前期)	PSY501-82j00	2	道又 爾		
MHPS1361	春	論文演習 I (前期)	PSY501-82j00	2	松田 修		
MHPS1371	春	論文演習 I (前期)	PSY501-82j00	2	久田 満		
MHPS1381	春	論文演習 I (前期)	PSY501-82j00	2	横山 恭子		
MHPS1391	春	論文演習 I (前期)	PSY501-82j00	2	廣瀬 英子		
MHPS1401	春	論文演習 I (前期)	PSY501-82j00	2	吉村 聡		
MHPS1421	春	論文演習 I (前期)	PSY501-82j00	2	樋口 匡貴		
MHPS1810	春	臨床心理学特論 I	PSY511-82j00	2	松田 修		
MHPS1820	秋	臨床心理学特論 II	PSY512-82j00	2	横山 恭子		
MHPS1830	春	臨床心理面接特論 I (心理支援に関する理論と実践)	PSY513-82j00	2	毛利 伊吹		
MHPS1840	春	臨床心理面接特論 II	PSY514-82j00	2	横山 恭子		
MHPS1850	春	臨床心理査定演習 I (心理的アセスメントに関する理論と実践)	PSY515-82j00	2	吉村 聡 松田 修		輪講
MHPS1870	春	臨床心理基礎実習 I	PSY517-82j00	1	山下 竜一 松田 修 毛利 伊吹 * 藤山 直樹		複数同時担当
MHPS2770	春	臨床心理実習 I	PSY619-82j00	1	横山 恭子 吾妻 壮		複数同時担当
MHPS6230	休講	心理測定学特殊研究 I	PSY523-82j00	2			後期課程「心理測定学上級研究」との合併科目
MHPS6250	春	認知心理学特殊研究 I	PSY525-82j00	2	道又 爾		後期課程「認知心理学上級研究」との合併科目
MHPS6270	春	精神医学特殊研究 (保健医療分野に関する理論と支援の展開)	PSY527-82j00	2	吾妻 壮		
MHPS6290	春	生理心理学特殊研究 I	PSY529-82j00	2	岡田 隆		
MHPS6310	春	発達心理学特殊研究 I	PSY531-82j00	2	齋藤 慈子		
MHPS6330	春	社会心理学特殊研究 I	PSY533-82j00	2	樋口 匡貴		後期課程「社会心理学上級研究」との合併科目
MHPS6360	春	コミュニティ心理学特殊研究	PSY536-82j00	2	久田 満		後期課程「コミュニティ心理学上級研究」との合併科目
MHPS7390	春	心理学研究法演習	PSY553-82j00	2	樋口 匡貴 岡田 隆 齋藤 慈子		後期課程「心理学研究法上級研究」との合併科目
MHPS7410	春	心理統計法特論	PSY541-82j00	2	* 萩生田 伸子		
MHPS7420	春	グループ・アプローチ特論	PSY542-82j00	2	* 大沼 幸子		
MHPS7430	春	心理学基礎実習 I	PSY551-82j00	1	横山 恭子		
MHPS7450	春	心理学特殊実習 I	PSY556-82j00	1	岡田 隆		
MHPS7510	春	心理学特殊実習 I	PSY556-82j00	1	齋藤 慈子		
MHPS7550	春	心理学特殊実習 I	PSY556-82j00	1	道又 爾		
MHPS7630	休講	心理学特殊実習 I	PSY556-82j00	1			
MHPS7700	春	心理学特殊実習 I	PSY556-82j00	1	樋口 匡貴		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
MHPS7720	春	臨床心理学特殊実習 I (心理実践実習)	PSY595-82j00	1	山下 竜一 他		
MHPS7810	春	教育臨床特論 (教育分野に関する理論と支援の展開)	PSY545-82j00	2	* 伊東 孝郎		
MHPS7830	集中	産業心理学特論 (産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	PSY593-82j00	2	* 大塚 泰正 小林 由佳		2Q 集中, 輪講
MHPS7840	集中	心の健康教育特論 (心の健康教育に関する理論と実践)	PSY591-82j00	2	久田 満		2Q 集中
MHPS9830	春	修士論文	PSY699-82j00	0	心理学専攻教員		M2 対象, 9 月修了者対象
MHPS1312	秋	論文演習 II (前期)	PSY502-82j00	2	岡田 隆		
MHPS1322	秋	論文演習 II (前期)	PSY502-82j00	2	毛利 伊吹		
MHPS1332	秋	論文演習 II (前期)	PSY502-82j00	2	齋藤 慈子		
MHPS1342	秋	論文演習 II (前期)	PSY502-82j00	2	吾妻 壮		
MHPS1352	秋	論文演習 II (前期)	PSY502-82j00	2	道又 爾		
MHPS1362	秋	論文演習 II (前期)	PSY502-82j00	2	松田 修		
MHPS1372	秋	論文演習 II (前期)	PSY502-82j00	2	久田 満		
MHPS1382	秋	論文演習 II (前期)	PSY502-82j00	2	横山 恭子		
MHPS1392	秋	論文演習 II (前期)	PSY502-82j00	2	廣瀬 英子		
MHPS1402	秋	論文演習 II (前期)	PSY502-82j00	2	吉村 聡		
MHPS1422	秋	論文演習 II (前期)	PSY502-82j00	2	樋口 匡貴		
MHPS1860	秋	臨床心理査定演習 II	PSY516-82j00	2	吉村 聡		
MHPS1880	秋	臨床心理基礎実習 II	PSY518-82j00	1	山下 竜一 松田 修 毛利 伊吹 * 藤山 直樹		複数同時担当
MHPS2780	秋	臨床心理実習 II	PSY620-82j00	1	横山 恭子 吾妻 壮		複数同時担当
MHPS6240	休講	心理測定学特殊研究 II	PSY524-82j00	2			「心理測定学特殊研究 I」を履修済であること
MHPS6260	秋	認知心理学特殊研究 II	PSY526-82j00	2	道又 爾		
MHPS6300	秋	PHYSIOPSYCHOLOGY 2	PSY561-82e00	2	岡田 隆	○	後期課程「ADVANCED PHYSIOPSYCHOLOGY」との合併科目
MHPS6320	秋	発達心理学特殊研究 II	PSY532-82j00	2	齋藤 慈子		後期課程「発達心理学上級研究」との合併科目
MHPS6340	秋	SOCIAL PSYCHOLOGY 2	PSY562-82e00	2	樋口 匡貴	○	
MHPS6350	秋	老年心理学特殊研究	PSY535-82j00	2	松田 修		後期課程「老年心理学上級研究」との合併科目
MHPS6370	秋	臨床人格心理学特殊研究	PSY537-82j00	2	吉村 聡		後期課程「臨床人格心理学上級研究」との合併科目
MHPS6380	秋	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	PSY539-82j00	2	久田 満		
MHPS6390	秋	福祉心理学特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開)	PSY592-82j00	2	* 河合 美子		
MHPS6400	秋	司法・犯罪心理学特論 (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	PSY594-82j00	2	* 室城 隆之		
MHPS6790	秋	臨床心理学研究法演習	PSY554-82j00	2	吉村 聡 久田 満		輪講
MHPS6810	秋	認知行動療法特殊研究	PSY543-82j00	2	毛利 伊吹		後期課程「認知行動療法上級研究」との合併科目
MHPS7440	秋	心理学基礎実習 II	PSY552-82j00	1	廣瀬 英子		
MHPS7460	秋	心理学特殊実習 II	PSY557-82j00	1	岡田 隆		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
MHPS7520	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	齋藤 慈子		
MHPS7560	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	道又 爾		
MHPS7640	休講	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1			
MHPS7710	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	樋口 匡貴		
MHPS7730	秋	臨床心理学特殊実習Ⅱ (心理実践実習)	PSY596-82j00	1	吉村 聡 他		
MHPS6280	秋	精神分析特殊研究	PSY544-82j00	2	吾妻 壮		後期課程「精神分析上級研究」との 合併科目
MHPS7900	秋	分野横断研究法：原理と技法	PSY700-82j00	2	コ)松田・池田		[30名] 分野横断プログラム
MHPS9820	秋	修士論文	PSY699-82j00	0	心理学専攻教員		M2 対象

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
PSY599-82j00	岡田 隆	
	毛利 伊吹	
	齋藤 慈子	
	吾妻 壮	
	道又 爾	
	松田 修	
	久田 満	
	横山 恭子	
	廣瀬 英子	
	吉村 聡	
	樋口 匡貴	

心理学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【18年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	18		
授業科目			
▶必修科目	12		
└論文演習Ⅰ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
└論文演習Ⅱ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
▶選択科目	6		
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

【17年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	12		
授業科目			
▶必修科目	12		
└論文演習Ⅰ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
└論文演習Ⅱ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
▶選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

【11～16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	12		
授業科目			
▶必修科目	12		
└論文演習Ⅰ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
└論文演習Ⅱ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
▶選択科目			
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻ガイダンスで配布する「博士後期課程における研究スケジュール」にて、詳細を確認すること。

【博士論文審査基準】

自立した研究者として研究を継続遂行し、当該分野・領域の研究において、将来にわたり独自の貢献を行うことができる能力を有することが認められること。なお、ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

- 1) 問題設定：問題意識が明確で、課題設定が適切であること。
- 2) 先行研究の理解：先行研究を適切に検討、吟味していること。
- 3) 研究方法・分析方法：研究目的に対し、研究方法等が適切であること。
- 4) 論文構成：論文構成が的確で、論理展開に整合性、一貫性があること。
- 5) 研究の位置づけ：当該分野、領域における社会的・学術的な意義が認められること。
- 6) 独創性：全体を通して学術的独創性が認められること。
- 7) 倫理的配慮：研究方法の適切性に留意し、研究対象に対する適切な倫理的配慮を行っていること。各種学会、大学等が定める倫理基準を満たしたものであること。
- 8) 形式面：以下の形式面が整っていること。
 - 1) 章・節の構成が適切であり、目次を見ることで全体の論旨が予想できること。
 - 2) 文章が明快で、論旨が明確に理解可能であること。
 - 3) 引用が適切で、引用文献表がきちんと整えられていること。
 - 4) 論文、引用の基本的体裁が「アメリカ心理学会出版マニュアル」および日本心理学会の「執筆・投稿の手引き」に準拠したものであること。

なお、博士論文に関しては、心理学専攻博士論文内規に基づき、専攻における構想発表会を経たものであること（心理学専攻内規を参照）。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
論文演習Ⅰ（後期）	2		
論文演習Ⅱ（後期）	2		
認知心理学上級研究			2
社会心理学上級研究			2
コミュニティ心理学上級研究			2
心理測定学上級研究			2
心理学研究法上級研究			2
発達心理学上級研究			2
老年心理学上級研究			2
認知行動療法上級研究			2
精神分析上級研究			2
生理心理学上級研究			2
臨床人格心理学上級研究			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
がん医療心理学演習Ⅰ			1
がんチーム医療演習Ⅰ			1
がん医療心理学特殊講義Ⅰ			1
がん医療心理学実習Ⅰ			1
がん医療心理学演習Ⅱ			1
がんチーム医療演習Ⅱ			1
がん医療心理学特殊講義Ⅱ			1
がん医療心理学実習Ⅱ			1

3. 履修上の注意

下記に従って 12 単位以上（18 年次生以降は 18 単位以上）を修得し、指導教員の指導のもとに博士論文を作成・提出することが必要である。

○ 全ての科目は繰り返し履修することが可能であり、修了に必要な単位として認められる。

- 1) 必修 12 単位：「論文演習Ⅰ（後期）」及び「論文演習Ⅱ（後期）」を 3 年間履修する。
- 2) 選択 6 単位：18 年次生以降は、選択科目群の中から、6 単位以上の履修が求められる。なお、履修にあたっては、あらかじめ指導教員と相談すること。
- 3) 「研究指導」（必修）は在学中毎学期登録される。なお、2017 年次生以降の学生については、6 科目以上合格すること。
- 4) 博士前期課程開講の「心理学特殊実習Ⅰ」及び「心理学特殊実習Ⅱ」を履修しようとする者は、学年初めに専攻主任に届出し、承認を得た後に履修することができる。
- 5) 博士前期課程開講の「心理学基礎実習Ⅰ」及び「心理学基礎実習Ⅱ」を履修しようとする者は、あらかじめ指導教員と相談すること。
- 6) 博士後期課程にあつて博士論文未提出に終わる場合には、3 年次の大学院（満期）修了時に、後期課程における研究報告書を専攻に提出すること。報告書は、心理学専攻修了者研究報告集の書式に従い（4000 字程度、報告書 2 ページ分）、在籍中の研究成果（学会発表の内容等）を具体的に盛り込むこと。なお、学会誌発表あるいはそれに準ずる論文がある場合は、業績一覧（2000 字程度、報告書 1 ページ分）をもって研究報告書に代えることができる。業績一覧の書式、内容については、専攻に問い合わせること。
- 7) 年初めの心理学専攻ガイダンスでの説明、およびガイダンス資料に十分留意し、ここで提示される研究指導の説明に従って研究を進め、博士号の取得を目指すこと。
- 8) 不明な点は指導教員と相談の上、履修を行うこと。
- 9) 毎年度末に、専攻の定める「研究報告書」を提出すること。
- 10) 博士論文提出者は、審査願提出時に 2 編以上の研究論文が学術誌に掲載されていること（掲載決定を含む）。提出に際しては、心理学専攻の定める「学位（博士）論文の審査手続きに関する内規」に従って、所定の手続きをとること。

[がん医療心理学関連科目]

2013 年度より開設された 4 大学院の連携授業（「がん医療心理学演習 I」, 「がん医療心理学特殊講義 I」など）について、8 単位以上を取得したときに、修了認定証が与えられる。なお、履修に際しては、講義、演習、実習、ワークショップの異なる種別の科目を履修することが望ましい。詳細は専攻主任に確認すること。また、これらの科目の履修にあたっては、あらかじめ専攻主任に相談すること。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
DHPS3311	春	論文演習Ⅰ(後期)	PSY811-82j00	2	岡田 隆		
DHPS3321	春	論文演習Ⅰ(後期)	PSY811-82j00	2	毛利 伊吹		
DHPS3331	春	論文演習Ⅰ(後期)	PSY811-82j00	2	齋藤 慈子		
DHPS3341	春	論文演習Ⅰ(後期)	PSY811-82j00	2	吾妻 壮		
DHPS3351	春	論文演習Ⅰ(後期)	PSY811-82j00	2	道又 爾		
DHPS3361	春	論文演習Ⅰ(後期)	PSY811-82j00	2	松田 修		
DHPS3371	春	論文演習Ⅰ(後期)	PSY811-82j00	2	久田 満		
DHPS3381	春	論文演習Ⅰ(後期)	PSY811-82j00	2	横山 恭子		
DHPS3391	春	論文演習Ⅰ(後期)	PSY811-82j00	2	廣瀬 英子		
DHPS3401	春	論文演習Ⅰ(後期)	PSY811-82j00	2	吉村 聡		
DHPS3421	春	論文演習Ⅰ(後期)	PSY811-82j00	2	樋口 匡貴		
DHPS7000	春	認知心理学上級研究	PSY833-82j00	2	道又 爾		前期課程「認知心理学特殊研究Ⅰ」と合併
DHPS7010	春	社会心理学上級研究	PSY838-82j00	2	樋口 匡貴		前期課程「社会心理学特殊研究Ⅰ」と合併
DHPS7020	春	コミュニティ心理学上級研究	PSY835-82j00	2	久田 満		前期課程「コミュニティ心理学特殊研究」と合併
DHPS7030	休講	心理測定学上級研究	PSY836-82j00	2			前期課程「心理測定学特殊研究Ⅰ」と合併
DHPS7040	春	心理学研究法上級研究	PSY840-82j00	2	樋口 匡貴 岡田 隆 齋藤 慈子		前期課程「心理学研究法演習」と合併
DHPS3510	集中	がん医療心理学演習Ⅰ	PSY821-82j00	1	心理学専攻教員 他		春学期集中, 4大学院の連携授業
DHPS3530	春	がん医療心理学特殊講義Ⅰ	PSY825-82j00	1	心理学専攻教員 他		4大学院の連携授業
DHPS3520	春	がんチーム医療演習Ⅰ	PSY823-82j00	1	心理学専攻教員 他		4大学院の連携授業
DHPS3540	春	がん医療心理学実習Ⅰ	PSY827-82j00	1	心理学専攻教員 他		4大学院の連携授業
DHPS3312	秋	論文演習Ⅱ(後期)	PSY812-82j00	2	岡田 隆		
DHPS3322	秋	論文演習Ⅱ(後期)	PSY812-82j00	2	毛利 伊吹		
DHPS3332	秋	論文演習Ⅱ(後期)	PSY812-82j00	2	齋藤 慈子		
DHPS3342	秋	論文演習Ⅱ(後期)	PSY812-82j00	2	吾妻 壮		
DHPS3352	秋	論文演習Ⅱ(後期)	PSY812-82j00	2	道又 爾		
DHPS3362	秋	論文演習Ⅱ(後期)	PSY812-82j00	2	松田 修		
DHPS3372	秋	論文演習Ⅱ(後期)	PSY812-82j00	2	久田 満		
DHPS3382	秋	論文演習Ⅱ(後期)	PSY812-82j00	2	横山 恭子		
DHPS3392	秋	論文演習Ⅱ(後期)	PSY812-82j00	2	廣瀬 英子		
DHPS3402	秋	論文演習Ⅱ(後期)	PSY812-82j00	2	吉村 聡		
DHPS3422	秋	論文演習Ⅱ(後期)	PSY812-82j00	2	樋口 匡貴		
DHPS7050	秋	発達心理学上級研究	PSY839-82j00	2	齋藤 慈子		前期課程「発達心理学特殊研究Ⅱ」と合併
DHPS7060	秋	老年心理学上級研究	PSY834-82j00	2	松田 修		前期課程「老年心理学特殊研究」と合併
DHPS7070	秋	認知行動療法上級研究	PSY831-82j00	2	毛利 伊吹		前期課程「認知行動療法特殊研究」と合併
DHPS7080	秋	精神分析上級研究	PSY832-82j00	2	吾妻 壮		前期課程「精神分析特殊研究」と合併
DHPS7090	秋	ADVANCED PHYSIOPSYCHOLOGY	PSY841-82e00	2	岡田 隆	○	前期課程「PHYSIOPSYCHOLOGY 2」と合併
DHPS7100	秋	臨床人格心理学上級研究	PSY837-82j00	2	吉村 聡		前期課程「臨床人格心理学特殊研究」と合併
DHPS3511	集中	がん医療心理学演習Ⅱ	PSY822-82j00	1	心理学専攻教員 他		秋学期集中, 4大学院の連携授業

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
DHPS3531	秋	がん医療心理学特殊講義Ⅱ	PSY826-82j00	1	心理学専攻教員 他		4 大学院の連携授業
DHPS3521	秋	がんチーム医療演習Ⅱ	PSY824-82j00	1	心理学専攻教員 他		4 大学院の連携授業
DHPS3541	秋	がん医療心理学実習Ⅱ	PSY828-82j00	1	心理学専攻教員 他		4 大学院の連携授業

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
PSY899-82j00	岡田 隆	
	毛利 伊吹	
	齋藤 慈子	
	吾妻 壮	
	道又 爾	
	松田 修	
	久田 満	
	横山 恭子	
	廣瀬 英子	
	吉村 聡	
	樋口 匡貴	

社会学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
・必修科目	8		
└社会学理論	2		
└社会学方法論	2		
└論文演習Ⅰ	2		
└論文演習Ⅱ	2		
・選択科目	22		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認める。
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中毎学期登録される。 4科目以上合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること。 (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること) 修士論文の審査基準は別に定める。

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻ガイダンスで配布する資料の研究スケジュールにて, 詳細を確認すること。

【修士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために, 提出された論文を次の審査項目について, 十分な水準に達しているか審査する。

- 1) 明確な問題意識により課題設定がなされていること。
- 2) 論文全体が的確に構成され, 統合的で一貫した論理展開がなされていること。
- 3) 研究対象分野における既存の研究成果が適切に検討・理解されていること。
- 4) 当該分野に関する知識の向上に対して何らかの貢献が行われていること。
- 5) 文章表現が明快であること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
社会学理論	2		
社会学方法論	2		
比較雇用関係論 I			2
比較雇用関係論 II			2
地域社会学特講			2
環境社会学特講			2
SEMINAR ON SOCIAL MOVEMENTS			2
歴史社会学特講			2
宗教社会学特講 I			2
宗教社会学特講 II			2
経済と組織の社会学 I ※注1			2
経済と組織の社会学 II ※注1			2
ライフスタイルと社会政策 I			2
ライフスタイルと社会政策 II			2
グローバル化と国際移動と人権			2
SEMINAR ON GLOBALIZATION, INTERNATIONAL MIGRATION AND HUMAN RIGHTS			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
ライフコース研究 I			2
ライフコース研究 II			2
SEMINAR ON SOCIAL CHANGE 1			2
SEMINAR ON SOCIAL CHANGE 2			2
SEMINAR ON SOCIAL CHANGE ※注1			2
ジェンダーと自己・社会構造 I			2
ジェンダーと自己・社会構造 II			2
現代社会学理論特講			2
社会学研究法 I			2
社会学研究法 II			2
(他) グローバル市民社会論研究1 (基礎) ※注2			2
(他) グローバル市民社会論研究2 (応用) ※注2			2
(他) 国際社会学研究1 (基礎) ※注2			2
(他) 国際社会学研究2 (応用) ※注2			2
論文演習 I (M2)	2		
論文演習 II (M2)	2		

※注1：2019年度まで開講

※注2：国際関係論専攻開講科目

3. 履修上の注意

- 1) 本専攻では前期課程2年間において、30単位以上（「論文演習 I・II」4単位を含む）を履修し、修士論文を提出することを修了の必須要件とする。
- 2) 毎年度4月に開催される専攻ガイダンスにおける指示に従って、各自専任教員一名を指導教員として定め、その指導のもとに所定の科目を履修し、かつ論文を作成すること。
- 3) 「論文演習 I・II」は、原則として指導教員による科目のみを履修することとし、同一学期に複数の科目を履修することはできない。
- 4) 「研究指導」（必修）は在学中毎学期登録される。4科目以上合格すること。
- 5) 毎年度、専攻の定める「研究計画書」を4月末までに、及び「研究報告書」を2月末までに提出すること。
- 6) 修士論文提出予定者は「提出予定書」を7月末までに、及び「題目届」を11月末までに提出すること。
- 7) 分野横断型の科目として、2022年度から新たに「分野横断研究法：原理と技法」が開設される。

本科目は心理学専攻開講のため、修得した単位は、自研究科他専攻科目（選択科目）として修了に必要な単位に算入される。

定員30名の抽選科目となるため、抽選エントリーの期間や方法、抽選後の先着順での登録方法等については、2022年度履修要覧〔ガイド・資料編〕p.31を参照すること。また、履修登録を行わずに授業に出席することはできないため、履修希望者は忘れずに抽選エントリーを行うこと。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
MHSC1110	春	社会学理論	SOC504-83j00	2	石井 由香理		
MHSC1120	春	社会学方法論	SOC505-83j00	2	今井 順		
MHSC2431	春	論文演習 I	SOC601-83j00	2	芳賀 学		M2 対象
MHSC2461	春	論文演習 I	SOC601-83j00	2	田淵 六郎		M2 対象
MHSC2441	春	論文演習 I	SOC601-83j00	2	藤村 正之		M2 対象
MHSC2491	春	論文演習 I	SOC601-83j00	2	今井 順		M2 対象
MHSC2471	春	論文演習 I	SOC601-83j00	2	猿谷 弘江		M2 対象
MHSC2501	春	論文演習 I	SOC601-83j00	2	HOMMERICH Carola		M2 対象
MHSC2503	春	論文演習 I	SOC601-83j00	2	中澤 秀雄		M2 対象
MHSC2505	春	論文演習 I	SOC601-83j00	2	石井 由香理		M2 対象
MHSC7130	春	宗教社会学特講 I	SOC511-83j00	2	芳賀 学		後期課程「宗教社会学応用研究 I」との合併科目
MHSC7170	春	ライフスタイルと社会政策 I	SOC513-83j00	2	藤村 正之		後期課程「ライフスタイルと社会政策応用研究 I」との合併科目
MHSC7290	春	歴史社会学特講	SOC517-83j00	2	猿谷 弘江		後期課程「歴史社会学応用研究」との合併科目
MHSC7320	春	比較雇用関係論 I	SOC521-83j00	2	今井 順		後期課程「比較雇用関係論応用研究 I」との合併科目
MHSC7370	春	地域社会学特講	SOC519-83j00	2	中澤 秀雄		後期課程「地域社会学応用研究」との合併科目
MHSC7230	春	グローバル化と国際移動と人権	SOC502-83j00	2	細木 一十稔 ラルフ		後期課程「グローバル化と国際移動と人権応用研究」との合併科目
MHSC7350	春	ジェンダーと自己・社会構造 I	SOC524-83j00	2	石井 由香理		後期課程「ジェンダーと自己・社会構造応用研究 I」との合併科目
MHSC7340	春	SEMINAR ON SOCIAL CHANGE 2	SOC525-83e00	2	HOMMERICH Carola	○	後期課程「ADVANCED STUDIES IN SOCIAL CNANGE 2」との合併科目 「SEMINAR ON SOCIAL CHANGE」と同一科目
MHSC7260	春	社会学研究法 I	SOC515-83j00	2	* 杉野 勇		隔年開講
MHSC2432	秋	論文演習 II	SOC602-83j00	2	芳賀 学		M2 対象
MHSC2462	秋	論文演習 II	SOC602-83j00	2	田淵 六郎		M2 対象
MHSC2442	秋	論文演習 II	SOC602-83j00	2	藤村 正之		M2 対象
MHSC2492	秋	論文演習 II	SOC602-83j00	2	今井 順		M2 対象
MHSC2472	秋	論文演習 II	SOC602-83j00	2	猿谷 弘江		M2 対象
MHSC2502	秋	論文演習 II	SOC602-83j00	2	HOMMERICH Carola		M2 対象
MHSC2504	秋	論文演習 II	SOC602-83j00	2	中澤 秀雄		M2 対象
MHSC2506	秋	論文演習 II	SOC602-83j00	2	石井 由香理		M2 対象
MHSC7180	秋	ライフスタイルと社会政策 II	SOC514-83j00	2	藤村 正之		後期課程「ライフスタイルと社会政策応用研究 II」との合併科目
MHSC7210	秋	ライフコース研究 I	SOC508-83j00	2	田淵 六郎		後期課程「ライフコース応用研究 I」との合併科目
MHSC7280	秋	SEMINAR ON SOCIAL MOVEMENTS	SOC518-83e00	2	猿谷 弘江	○	後期課程「ADVANCED STUDIES IN SOCIAL MOVEMENTS」との合併科目
MHSC7380	秋	環境社会学特講	SOC520-83j00	2	中澤 秀雄		後期課程「環境社会学応用研究」との合併科目
MHSC7330	秋	比較雇用関係論 II	SOC522-83j00	2	今井 順		後期課程「比較雇用関係論応用研究 II」との合併科目
MHSC7240	秋	SEMINAR ON GLOBALIZATION, INTERNATIONAL MIGRATION AND HUMAN RIGHTS	SOC503-83e00	2	細木 一十稔 ラルフ	○	後期課程「ADVANCED STUDIES IN GLOBALIZATION, INTERNATIONAL MIGRATION AND HUMAN RIGHTS」との合併科目

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
MHSC7360	秋	ジェンダーと自己・社会構造Ⅱ	SOC526-83j00	2	石井 由香理		後期課程「ジェンダーと自己・社会構造応用研究Ⅱ」との合併科目
MHSC7250	秋	現代社会理論特講	SOC510-83j00	2	* 出口 剛司		
MHSC9360	秋	修士論文	SOC699-83j00	0	社会学専攻各指導教員		M2 対象
MHSC9361	春	修士論文	SOC699-83j00	0	社会学専攻各指導教員		M2 対象, 9月修了者対象
MHSC7220	休講	ライフコース研究Ⅱ	SOC509-83j00	2			後期課程「ライフコース応用研究Ⅱ」との合併科目
MHSC7339	休講	SEMINAR ON SOCIAL CHANGE 1	SOC523-83e00	2		○	後期課程「ADVANCED STUDIES IN SOCIAL CHANGE 1」との合併科目
MHSC7140	休講	宗教社会学特講Ⅱ	SOC512-83j00	2			後期課程「宗教社会学応用研究Ⅱ」との合併科目
MHSC7270	休講	社会学研究法Ⅱ	SOC516-83j00	2			隔年開講

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
SOC599-83j00	芳賀 学	
	藤村 正之	
	田淵 六郎	
	猿谷 弘江	
	今井 順	
	HOMMERICH Carola	
	中澤 秀雄	
	石井 由香理	

社会学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

【18年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	6		
授業科目			
・選択科目	6	3	
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			博士論文の提出には，博士論文資格試験・構想審査を終了している必要がある。 それらの詳細については4月ガイダンス時に資料を配布する。 博士論文の審査基準は別に定める。

【17年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数			
授業科目			
・選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			博士論文の提出には，博士論文資格試験・構想審査を終了している必要がある。 それらの詳細については4月ガイダンス時に資料を配布する。 博士論文の審査基準は別に定める。

【12～16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数			
授業科目			
・選択科目			
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される。
博士論文			博士論文の提出には，博士論文資格試験・構想審査を終了している必要がある。 それらの詳細については4月ガイダンス時に資料を配布する。 博士論文の審査基準は別に定める。

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻ガイダンスで配布する「博士後期課程における研究スケジュール」にて，詳細を確認すること。

【博士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために，提出された論文を次の審査項目について，十分な水準に達しているか審査する。

- 1) 明確な問題意識により課題設定がなされていること。
- 2) 論文全体が的確に構成され，統合的で一貫した論理展開がなされていること。
- 3) 研究対象分野における既存の研究成果が網羅的に検討され，十分に理解されていること。

- 4) 当該分野に関する知識に対して独自の貢献が行われていること。具体的には、新たな事実の発見や自立した批判的思考を通して独創性が示されていること。
- 5) 文章表現が明快であること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
比較雇用関係論応用研究Ⅰ			2
比較雇用関係論応用研究Ⅱ			2
地域社会学応用研究			2
環境社会学応用研究			2
ADVANCED STUDIES IN SOCIAL MOVEMENTS			2
歴史社会学応用研究			2
宗教社会学応用研究Ⅰ			2
宗教社会学応用研究Ⅱ			2
ライフスタイルと社会政策応用研究Ⅰ			2
ライフスタイルと社会政策応用研究Ⅱ			2
グローバル化と国際移動と人権 応用研究			2
ADVANCED STUDIES IN GLOBALIZATION, INTERNATIONAL MIGRATION AND HUMAN RIGHTS			2
ライフコース応用研究Ⅰ			2
ライフコース応用研究Ⅱ			2
ADVANCED STUDIES IN SOCIAL CHANGE 1			2
ADVANCED STUDIES IN SOCIAL CHANGE 2			2
ADVANCED STUDIES IN SOCIAL CHANGE ※注1			2
ジェンダーと自己・社会構造応用研究Ⅰ			2
ジェンダーと自己・社会構造応用研究Ⅱ			2

※注1：2019年度まで開講

3. 履修上の注意

【全学年共通】

- 1) 毎年度専攻の定める「研究計画書」を4月末までに、及び「研究報告書」を2月末までに提出すること。
- 2) 社会学専攻博士前期課程の選択科目も履修することが出来る。(p.146～p.147 参照のこと)

【18年次生以降】

後期課程を修了するためには3年以上在学し、「研究指導」を毎学期履修すること（在学中、毎学期登録される。）。また、後期課程選択科目（前期課程との合併科目）を6単位以上修得することと、「研究指導」6科目以上合格することを修了の要件とする。

【12年次生～17年次生】

後期課程を修了するためには3年以上在学し、「研究指導」を毎学期履修すること（在学中、毎学期登録される。）。なお、2017年次生については、6科目以上合格すること。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
DHSC7030	春	宗教社会学応用研究 I	SOC803-83j00	2	芳賀 学		前期課程「宗教社会学特講 I」との併科科目
DHSC7110	春	ライフスタイルと社会政策応用研究 I	SOC809-83j00	2	藤村 正之		前期課程「ライフスタイルと社会政策 I」との併科科目
DHSC7050	秋	ライフコース応用研究 I	SOC805-83j00	2	田淵 六郎		前期課程「ライフコース研究 I」との併科科目
DHSC7010	春	歴史社会学応用研究	SOC801-83j00	2	猿谷 弘江		前期課程「歴史社会学特講」との併科科目
DHSC7130	春	比較雇用関係論応用研究 I	SOC811-83j00	2	今井 順		前期課程「比較雇用関係論 I」との併科科目
DHSC7200	春	地域社会学応用研究	SOC807-83j00	2	中澤 秀雄		前期課程「地域社会学特講」との併科科目
DHSC7070	春	グローバル化と国際移動と人権応用研究	SOC815-83j00	2	細木 一十稔 ラルフ		前期課程「グローバル化と国際移動と人権」との併科科目
DHSC7169	休講	ADVANCED STUDIES IN SOCIAL CHANGE 1	SOC818-83e00	2		○	前期課程「SEMINAR ON SOCIAL CHANGE 1」との併科科目
DHSC7180	春	ジェンダーと自己・社会構造 応用研究 I	SOC819-83j00	2	石井 由香理		前期課程「ジェンダーと自己・社会構造 I」との併科科目
DHSC7040	休講	宗教社会学応用研究 II	SOC804-83j00	2			前期課程「宗教社会学特講 II」との併科科目
DHSC7120	秋	ライフスタイルと社会政策応用研究 II	SOC810-83j00	2	藤村 正之		前期課程「ライフスタイルと社会政策 II」との併科科目
DHSC7060	休講	ライフコース応用研究 II	SOC806-83j00	2			前期課程「ライフコース研究 II」との併科科目
DHSC7020	秋	ADVANCED STUDIES IN SOCIAL MOVEMENTS	SOC802-83e00	2	猿谷 弘江	○	前期課程「SEMINAR ON SOCIAL MOVEMENTS」との併科科目
DHSC7210	秋	環境社会学応用研究	SOC808-83j00	2	中澤 秀雄		前期課程「環境社会学特講」との併科科目
DHSC7140	秋	比較雇用関係論応用研究 II	SOC812-83j00	2	今井 順		前期課程「比較雇用関係論 II」との併科科目
DHSC7080	秋	ADVANCED STUDIES IN GLOBALIZATION, INTERNATIONAL MIGRATION AND HUMAN RIGHTS	SOC816-83e00	2	細木 一十稔 ラルフ	○	前期課程「SEMINAR ON GLOBALIZATION, INTERNATIONAL MIGRATION AND HUMAN RIGHTS」との併科科目
DHSC7170	春	ADVANCED STUDIES IN SOCIAL CHANGE 2	SOC820-83e00	2	HOMMERICH Carola	○	前期課程「SEMINAR ON SOCIAL CHANGE 2」との併科科目 「ADVANCED STUDIES IN SOCIAL CHANGE」と同一科目
DHSC7190	秋	ジェンダーと自己・社会構造 応用研究 II	SOC821-83j00	2	石井 由香理		前期課程「ジェンダーと自己・社会構造 II」との併科科目

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
SOC899-83j00	芳賀 学	
	藤村 正之	
	田淵 六郎	
	猿谷 弘江	
	今井 順	
	HOMMERICH Carola	
	中澤 秀雄	
	石井 由香理	

社会福祉学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【18年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	4		
└社会福祉研究法基礎	4		
▶選択科目	26		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる。
指導科目			
研究指導（必修）		4 (6)	単位なし, 在学中毎学期登録される。 4科目以上（長期履修学生は6科目以上）合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【17年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	4		
└社会福祉研究法基礎演習	4		
▶選択科目	26		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる。
指導科目			
研究指導（必修）		4 (6)	単位なし, 在学中毎学期登録される。 4科目以上（長期履修学生は6科目以上）合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【13～16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
・必修科目	4		
└社会福祉研究法基礎演習	4		
・選択科目	26		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる。
指導科目			
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される。
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【12年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
・必修科目	2		
└社会福祉研究法基礎演習	2		
・選択科目	28		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる。
指導科目			
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される。
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻別ガイダンスで配布する「社会福祉学専攻 博士前期課程 研究指導計画」にて，詳細を確認すること。

【修士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために，提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

- 1) 研究テーマの設定が適切であり，社会福祉の理念・政策・実践との関連付けが明確であること。
- 2) 先行研究を的確に踏まえ，レビューが十分になされていること。
- 3) 研究目的に照らして研究方法が妥当であり，明確な結果が導き出されていること。
- 4) 論文構成が明快であり，論理の展開に一貫性があること。
- 5) 考察および結論に新たな知見が含まれていること。
- 6) 研究倫理上の問題がないこと。
- 7) 日本社会福祉学会誌執筆要領(注および文献の表示等)ないし社会政策学会誌執筆要領等に適合しており，学術論文としての体裁が整っていること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
社会福祉研究法基礎演習 ※注1, 注2	4		
社会福祉研究法基礎	4		
福祉政策運営管理研究法基礎演習 ※注2			2
福祉政策運営管理研究法基礎			2
福祉臨床研究法基礎演習 ※注2			2
福祉臨床研究法基礎			2
ACADEMIC PRESENTATION AND WRITING SKILLS FOR GRADUATE STUDENTS IN SOCIAL WORK ※注3			2
QUALITATIVE SOCIAL WORK RESEARCH※5			1
SOCIAL WORK WITH SELF-HELP GROUPS ※5			1
社会福祉政策学 ※注2			2
社会福祉政策学Ⅰ			1
社会福祉政策学Ⅱ			1
社会福祉運営計画論Ⅰ ※注4			2
社会福祉経営学※5			2
福祉サービス経営管理論 ※注2			2
福祉サービス経営管理論Ⅰ※注5			1
福祉サービス経営管理論Ⅱ※注5			1
社会保障特殊講義			2
社会政策とジェンダー			2
統計調査研究			2
生活困窮支援政策学			2
ソーシャルワーク実践理論研究 ※注4			2
ソーシャルワークケースワーク研究			2
コミュニティーオーガニゼーション研究 ※注5			2
当事者福祉研究			2
障害者福祉学 ※注3			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
知的障害者福祉学			2
児童福祉学			2
精神保健福祉研究			2
精神科ソーシャルワーク研究 ※注4			2
医療ソーシャルワーク研究 ※注2			2
医療ソーシャルワーク研究Ⅰ			1
医療ソーシャルワーク研究Ⅱ			1
司法福祉研究			2
ORGANIZATIONAL MANAGEMENT AND LEADERSHIP ※注5			1
権利擁護関係法制論			2
リスクマネジメント事例研究※注5			2
生活構造論研究			2
SOCIAL WORK RESEARCH ※注4			2
SOCIAL WORK THEORIES ※注4			2
JAPAN'S SOCIAL SECURITY SYSTEM : INSURING THE WORLD'S OLDEST COUNTRY			1
CONTEMPORARY THEORIES AND TRENDS IN SOCIAL WORK			2
THE CO-PRODUCTION OF PUBLIC AND SOCIAL SERVICES			2
社会福祉フィールドワークA			0
社会福祉フィールドワークB			2
援助事例分析A			0
援助事例分析B			2
地域事例分析A ※注2			0
地域事例分析B ※注2			2
社会政策・経営事例分析A			0
社会政策・経営事例分析B			2

※注1 12年次生以前は2単位 ※注4 2019年度まで開講

※注2 2017年度まで開講 ※注5 2020年度まで開講

※注3 2018年度まで開講

3. 履修上の注意

- 4月の専攻別ガイダンスで配布する「社会福祉学専攻履修上の注意」に従って履修すること。
- 専任教員1名を指導教員として定め、その教員の研究指導計画のもとで研究計画を練り、研究の報告や修士論文の作成を行うこと。
- 当該年度に修士論文を提出する予定の者は、10月初旬の研究進捗報告会において研究内容を発表して指導を受けること。
- すべての科目は繰り返し履修することが可能であり、修了に必要な単位として認められる。
必修科目「社会福祉研究法基礎演習」及び「社会福祉研究法基礎」を重複して履修した場合の超過単位数は、選択科目に充当する。
- 前期課程において30単位以上を修得するとともに、「研究指導」（単位なし）を毎学期履修し、修士論文を提出すること。

- 6) 「研究指導」は在学中毎学期登録される。なお、2017 年次生以降の学生は、4 科目以上（長期履修学生は 6 科目以上）合格すること。
- 7) 1 年間に複数教員の「社会福祉フィールドワーク」を受講することはできない。
- 8) 「援助事例分析」と「社会政策・経営事例分析」は、合わせて 1 年間 2 教員まで履修することができる。また 1 年間に、「援助事例分析」の中の 2 教員までの科目、「社会政策・経営事例分析」の中の 2 教員までの科目を履修することができる。
- 9) 「社会福祉フィールドワーク」、「援助事例分析」、「社会政策・経営事例分析」は、原則として春学期に A、秋学期に B を登録することとする。ただし、留学等やむを得ない事情がある場合は、事前に専攻主任に相談すること。また、各科目は A、B とも同一の教員が開講しているものを登録しなければならない。
- 10) 「社会福祉フィールドワーク A」、「援助事例分析 A」、「社会政策・経営事例分析 A」の評価には、P（合格）、X（不合格）を使用する。
- 11) 「社会福祉政策学 I・II」、「医療ソーシャルワーク研究 I・II」は、原則として I と II を両科目とも履修することが望ましい。
- 12) 分野横断型の科目として、2022 年度から新たに「分野横断研究法：原理と技法」が開設される。
本科目は心理学専攻開講のため、修得した単位は、自研究科他専攻科目（選択科目）として修了に必要な単位数に算入される。
定員 30 名の抽選科目となるため、抽選エントリーの期間や方法、抽選後の先着順での登録方法等については、2022 年度履修要覧〔ガイド・資料編〕p.31 を参照すること。また、履修登録を行わずに授業に出席することはできないため、履修希望者は忘れずに抽選エントリーを行うこと。

【カリキュラムの変更に伴う新旧科目の対応と履修単位の読み替え措置について】

新旧科目の対応と履修単位の読み替えは、以下の表により、対応する科目は同一科目とみなす。

変更前		変更後	
科目名	開講年度	科目名	開講年度
社会福祉フィールドワーク（2）	～2014	社会福祉フィールドワーク A（0） 社会福祉フィールドワーク B（2）	2015～
援助事例分析（2）	～2014	援助事例分析 A（0） 援助事例分析 B（2）	2015～
地域事例分析（2）	～2014	社会政策・経営事例分析 A（0） 社会政策・経営事例分析 B（2）	2018～
地域事例分析 A（0） 地域事例分析 B（2）	～2017		
社会福祉研究法基礎演習（4）	～2017	社会福祉研究法基礎（4）	2018～
福祉政策運営管理研究法基礎演習（2）	～2017	福祉政策運営管理研究法基礎（2）	2018～
福祉臨床研究法基礎演習（2）	～2017	福祉臨床研究法基礎（2）	2018～
社会福祉政策学（2）	～2017	社会福祉政策学 I（1）	2018～
		社会福祉政策学 II（1）	
医療ソーシャルワーク研究（2）	～2017	医療ソーシャルワーク研究 I（1）	2018～
		医療ソーシャルワーク研究 II（1）	
福祉サービス経営管理論（2）	～2017	福祉サービス経営管理論 I（1）	2018～
		福祉サービス経営管理論 II（1）	

（ ）は単位数

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
MHSV1020	春	社会福祉研究法基礎	SSV501-84m00	4	コーディネータ 丸山 桂 笠原 千絵 新藤 こずえ 鏑木 奈津子 * 浅野 貴博 * LARATTA Rosario		輪講, M1 必修 後期課程科目「研究法特殊講義」との合併科目 2017年度以前開講「社会福祉研究法基礎演習」と同一科目
MHSV7140	春	権利擁護関係法制論	SSV605-84j00	2	* 赤沼 康弘		
MHSV7510	春	知的障害者福祉学	SSV510-84j00	2	笠原 千絵		
MHSV7050	春	THE CO-PRODUCTION OF PUBLIC AND SOCIAL SERVICES	SSV506-84e00	2	* LARATTA Rosario	○	
MHSV7250	春	ソーシャルケースワーク研究	SSV513-84j00	2	高山 恵理子		後期課程科目「ソーシャルケースワーク特殊研究」との合併科目
MHSV7270	春	社会福祉フィールドワーク A	SSV514-84j00	0	丸山 桂		
MHSV7310	春	社会福祉フィールドワーク A	SSV514-84j00	0	笠原 千絵		
MHSV7320	春	社会福祉フィールドワーク A	SSV514-84j00	0	新藤 こずえ		
MHSV7330	春	社会福祉フィールドワーク A	SSV514-84j00	0	鏑木 奈津子		
MHSV7340	春	社会福祉フィールドワーク A	SSV514-84j00	0	高山 恵理子		
	春	社会福祉フィールドワーク B	SSV515-84j00	2	社会福祉学専攻各指導教員		留学等特別な事情のある場合のみ、専攻の許可のもと履修可能
MHSV7360	春	援助事例分析 A	SSV516-84j00	0	笠原 千絵		
MHSV7370	春	援助事例分析 A	SSV516-84j00	0	新藤 こずえ		
MHSV7380	春	援助事例分析 A	SSV516-84j00	0	高山 恵理子		
	春	援助事例分析 B	SSV517-84j00	2	社会福祉学専攻各指導教員		留学等特別な事情のある場合のみ、専攻の許可のもと履修可能
MHSV7390	春	社会政策・経営事例分析 A	SSV518-84j00	0	丸山 桂		
MHSV7430	春	社会政策・経営事例分析 A	SSV518-84j00	0	鏑木 奈津子		
	春	社会政策・経営事例分析 B	SSV519-84j00	2	社会福祉学専攻各指導教員		留学等特別な事情のある場合のみ、専攻の許可のもと履修可能
MHSV9530	春	修士論文	SSV699-84j00	0	社会福祉学専攻各指導教員		M2 対象, 9月修了者対象
MHSV7020	秋	福祉政策運営管理研究法基礎	SSV502-84j00	2	丸山 桂 鏑木 奈津子		輪講 2017年度以前開講「福祉政策運営管理研究法基礎演習」と同一科目
MHSV7030	秋	福祉臨床研究法基礎	SSV503-84j00	2	コーディネータ 笠原 千絵 * 浅野 貴博 * 山口 麻衣		輪講 2017年度以前開講「福祉臨床研究法基礎演習」と同一科目
MHSV7080	秋	統計調査研究	SSV531-84j00	2	丸山 桂		隔年開講
MHSV7160	秋	生活構造論研究	SSV606-84j00	2	* 山田 知子		
MHSV7170	秋	児童福祉学	SSV504-84j00	2	新藤 こずえ		
MHSV7180	秋	精神保健福祉研究	SSV601-84j00	2	* 藤井 達也		
MHSV7240	3Q	医療ソーシャルワーク研究 I	SSV612-84j00	1	高山 恵理子		
MHSV7260	4Q	医療ソーシャルワーク研究 II	SSV613-84j00	1	高山 恵理子		
MHSV7530	秋	CONTEMPORARY THEORIES AND TRENDS IN SOCIAL WORK	SSV505-84e00	2	MUSA Saif	○	
MHSV7271	秋	社会福祉フィールドワーク B	SSV515-84j00	2	丸山 桂		
MHSV7311	秋	社会福祉フィールドワーク B	SSV515-84j00	2	笠原 千絵		
MHSV7321	秋	社会福祉フィールドワーク B	SSV515-84j00	2	新藤 こずえ		
MHSV7331	秋	社会福祉フィールドワーク B	SSV515-84j00	2	鏑木 奈津子		
MHSV7341	秋	社会福祉フィールドワーク B	SSV515-84j00	2	高山 恵理子		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
	秋	社会福祉フィールドワーク A	SSV514-84j00	0	社会福祉学専攻各 指導教員		留学等特別な事情のある場合のみ、 専攻の許可のもと履修可能
MHSV7361	秋	援助事例分析 B	SSV517-84j00	2	笠原 千絵		
MHSV7371	秋	援助事例分析 B	SSV517-84j00	2	新藤 こずえ		
MHSV7381	秋	援助事例分析 B	SSV517-84j00	2	高山 恵理子		
	秋	援助事例分析 A	SSV516-84j00	0	社会福祉学専攻各 指導教員		留学等特別な事情のある場合のみ、 専攻の許可のもと履修可能
MHSV7391	秋	社会政策・経営事例分析 B	SSV519-84j00	2	丸山 桂		
MHSV7431	秋	社会政策・経営事例分析 B	SSV519-84j00	2	鎌木 奈津子		
	秋	社会政策・経営事例分析 A	SSV518-84j00	0	社会福祉学専攻各 指導教員		留学等特別な事情のある場合のみ、 専攻の許可のもと履修可能
MHSV9520	秋	修士論文	SSV699-84j00	0	社会福祉学専攻各 指導教員		M2 対象
MHSV7040	休講	社会福祉政策学 I	SSV610-84j00	1			後期課程科目「社会福祉政策学特殊 研究 I」との合併科目
MHSV7060	休講	社会福祉政策学 II	SSV611-84j00	1			後期課程科目「社会福祉政策学特殊 研究 II」との合併科目
MHSV7090	休講	社会政策とジェンダー	SSV631-84j00	2			隔年開講 後期課程科目「社会政策学特殊研究」 との合併科目
MHSV7100	休講	JAPAN' S SOCIAL SECURITY SYSTEM : INSURING THE WORLD' S OLDEST COUNTRY	SSV532-84e00	1		○	
MHSV7230	休講	司法福祉研究	SSV608-84j00	2			
MHSV7280	休講	社会福祉フィールドワーク A	SSV514-84j00	0			
MHSV7281	休講	社会福祉フィールドワーク B	SSV515-84j00	2			
MHSV7290	休講	社会福祉フィールドワーク A	SSV514-84j00	0			
MHSV7291	休講	社会福祉フィールドワーク B	SSV515-84j00	2			
MHSV7300	休講	社会福祉フィールドワーク A	SSV514-84j00	0			
MHSV7301	休講	社会福祉フィールドワーク B	SSV515-84j00	2			
MHSV7350	休講	援助事例分析 A	SSV516-84j00	0			
MHSV7351	休講	援助事例分析 B	SSV517-84j00	2			
MHSV7410	休講	社会政策・経営事例分析 A	SSV518-84j00	0			
MHSV7411	休講	社会政策・経営事例分析 B	SSV519-84j00	2			
MHSV7420	休講	社会政策・経営事例分析 A	SSV518-84j00	0			
MHSV7421	休講	社会政策・経営事例分析 B	SSV519-84j00	2			
MHSV7460	休講	当事者福祉研究	SSV602-84j00	2			隔年開講, 後期課程科目「質的研究 法特殊研究」との合併科目
MHSV7470	休講	社会保障特殊講義	SSV603-84j00	2			
MHSV7520	休講	生活困窮支援政策学	SSV604-84e00	2			

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
SSV599-84j00	大塚 晃	
	岡 知史	
	丸山 桂	
	高山 恵理子	
	笠原 千絵	
	新藤 こずえ	
	鍋木 奈津子	

社会福祉学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	6		
授業科目			
↳ 選択科目	6		
指導科目			
研究指導(必修)		6	単位なし, 在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

【14～16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
授業科目			
↳ 選択科目			
指導科目			
研究指導(必修)			単位なし, 在学中毎学期登録される。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻別ガイダンスで配布する「社会福祉学専攻 博士後期課程 研究指導計画」にて, 詳細を確認すること。

【博士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために, 提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

- 1) 研究テーマの設定が適切であり, 社会福祉の理念・政策・実践との関連付けが明確であること。
- 2) 先行研究を的確に踏まえ, レビューが十分になされていること。
- 3) 研究目的に照らして研究方法が妥当であり, 明確な研究成果が導き出されていること。
- 4) 論文構成が明快であり, 論理の展開に一貫性があること。
- 5) 社会福祉学領域に新たな知見を提示し, 当該領域の理論および実践の進展に寄与するものであること。
- 6) 自立した研究者としての資質と能力を証明するものであること。
- 7) 研究倫理上の問題がないこと。
- 8) 日本社会福祉学会誌執筆要領(注および文献の表示等)ないし社会政策学会誌執筆要領等に適合しており, 学術論文としての体裁が整っていること。

なお, 博士論文の提出については, 社会福祉学専攻「博士学位論文の審査手続きに関する内規」を参照すること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
研究法特殊講義			4
ソーシャルワーク理論特殊研究 ※注2			2
社会福祉政策学特殊研究 ※注1			2
社会福祉政策学特殊研究Ⅰ			1
社会福祉政策学特殊研究Ⅱ			1
質的研究法特殊研究			2
社会政策学特殊研究			2
ソーシャルケースワーク特殊研究			2

※注1 2017年度まで開講

※注2 2019年度まで開講

3. 履修上の注意

- 1) 4月の専攻別ガイダンスで配布する「社会福祉学専攻履修上の注意」に従って履修すること。
- 2) 専任教員1名を指導教員として定め、その教員の研究指導計画のもとで研究計画を練り、研究の報告や博士論文の作成を行うこと。
- 3) 博士論文提出予定者は、本専攻の「学位請求論文の審査手順（概要）」に従って、指導教員の承諾を得て、博士論文計画書を定められた期日までに本専攻主任に提出する。提出予定者は研究業績として、学術雑誌に掲載または採択された、申請者を第一著者とする論文、またはそれと同等であると本専攻が認めた論文が2篇以上必要である。
- 4) 後期課程を修了するためには3年以上在学し、「研究指導」（単位なし）を毎学期履修すること（在学中毎学期登録する）。なお、2017年次生以降は、6科目合格すること。
- 5) 2017年次生以降は、博士論文の審査および試験に合格することに加え、後期課程選択科目（前期課程との合併科目）6単位の取得が修了要件である。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
DHSV7040	春	研究法特殊講義	SSV803-84m00	4	コーディネータ 丸山 桂 笠原 千絵 新藤 こずえ 鏑木 奈津子 * 浅野 貴博 * LARATTA Rosario		輪講 前期課程科目「社会福祉研究法基礎」との合併科目
DHSV7070	春	ソーシャルケースワーク特殊研究	SSV807-84j00	2	高山 恵理子		前期課程科目「ソーシャルケースワーク研究」との合併科目
DHSV7050	休講	社会福祉政策学特殊研究 I	SSV804-84j00	1			前期課程科目「社会福祉政策学 I」との合併科目
DHSV7060	休講	社会福祉政策学特殊研究 II	SSV805-84j00	1			前期課程科目「社会福祉政策学 II」との合併科目
DHSV7030	休講	質的研究法特殊研究	SSV802-84j00	2			隔年開講 前期課程科目「当事者福祉研究」との合併科目
DHSV7020	休講	社会政策学特殊研究	SSV806-84j00	2			隔年開講 前期課程科目「社会政策とジェンダー」との合併科目

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
SSV899-84j00	福祉政策運営管理研究グループ (大塚・丸山・鏑木)	
	福祉臨床研究グループ (岡・高山・笠原・新藤)	

看護学専攻 修士課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
・必修科目	10		
└キリスト教と人間論特論	2		
└看護研究法 I A	2		
└看護研究法 I B	2		
└看護学特別研究演習 I	2		
└看護学特別研究演習 II	2		
・選択科目	20		自専門分野指定科目を6単位以上履修すること。
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる。
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず登録をすること。
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中毎学期登録される。4科目以上（長期履修学生は6科目以上）合格すること。

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻ガイダンスで配布する「看護学専攻（修士課程）論文審査スケジュール」にて, 詳細を確認すること。

【修士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために, 提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

1. 表題の明確性と内容との一貫性
2. 研究の意義, 着眼点（文献レビューに基いているか）
3. 研究目的の明確性
4. 倫理的配慮を含む研究方法の適切性（目的との関連性）
5. データ収集・分析の適切性
6. 結果の提示の十分性
7. 考察の妥当性（結果をもとに考察し, 論理の矛盾や飛躍がないか）
8. 論旨の一貫性
9. 図表の不備・不足ないしは不要の有無
10. 文献の偏りおよび不備

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
＜共通科目＞			
キリスト教と人間論特論	2		
看護研究法ⅠA	2		
看護研究法ⅠB	2		
看護研究法Ⅱ（質的研究）			2
看護研究法Ⅲ（量的研究）			2
看護理論			2
ケアリング特論			2
ヘルスケア哲学			2
倫理学特論			2
看護管理学特論			2
看護教育学特論			2
医療政策特講			2
国際比較文化論			2
生涯発達学特論			2
家族社会学			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
＜専門（領域）科目＞			
専門看護学特論			2
専門看護学ゼミ			2
専門看護学演習			2
フィールドワーク			2
看護学特別研究演習Ⅰ	2		
看護学特別研究演習Ⅱ	2		

3. 履修上の注意

- 1) 看護学専攻の修了要件は 30 単位以上を履修し、自専門分野指導教員のもと修士論文を作成・提出することとする。
なお、学生の研究関心分野に応じて、関連した他専門分野の教員からも研究指導を適宜受けることができる。
- 2) 「研究指導」（必修）は、在学中毎学期登録される。4 科目以上（長期履修学生は 6 科目以上）合格すること。
- 3) 学生は本専攻入学時に、それぞれの分野に対応する「専門看護学特論」（2 単位）、「専門看護学ゼミ」（2 単位）及び「専門看護学演習」（2 単位）を履修すること。詳細については、ガイダンスで説明する。
- 4) 本専攻では、教育・実践力ならびに研究に必要なセンスを磨くための教育方法として、「フィールドワーク」（2 年次選択科目）を重視している。内容については、ガイダンスで説明する。
- 5) 長期履修のモデルについては、ガイダンスで配布し説明を行うが、履修登録前に自専門分野指導教員と相談すること。
- 6) 論文の作成については、ガイダンス資料にあるスケジュール・提出物・提出先を参照して進める。1 年次の 4Q にて研究計画の発表、2 年次の 4Q にて修士論文の発表を行う。
- 7) 分野横断型の科目として、2022 年度から新たに「分野横断研究法：原理と技法」が開設される。
本科目は心理学専攻開講のため、修得した単位は、自研究科他専攻科目（選択科目）として修了に必要な単位数に算入される。専門分野を超えた人的・知的交流の機会として受講を推奨する。
定員 30 名の抽選科目となるため、抽選エントリーの期間や方法、抽選後の先着順での登録方法等については、2022 年度履修要覧〔ガイド・資料編〕p.31 を参照すること。また、履修登録を行わずに授業に出席することはできないため、履修希望者は忘れずに抽選エントリーを行うこと。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
MHNU7370	春	専門看護学特論	NRS516-85m00	2	吉野 八重	○	
MHNU7300	春	専門看護学特論	NRS516-85m00	2	塚本 尚子 舩木 由香		輪講
MHNU7310	春	専門看護学特論	NRS516-85m00	2	石川 ふみよ 三次 真理 田村 南海子		輪講
MHNU7320	春	専門看護学特論	NRS516-85m00	2	小長谷 百絵		
MHNU7330	春	専門看護学特論	NRS516-85m00	2	島田 真理恵 佐山 理絵		輪講
MHNU7340	春	専門看護学特論	NRS516-85m00	2	草柳 浩子		
MHNU7350	春	専門看護学特論	NRS516-85m00	2	小高 恵実		
MHNU7360	春	専門看護学特論	NRS516-85m00	2	両羽 美穂子 岡本 菜穂子 申 于定		輪講
MHNU7010	春	フィールドワーク	NRS603-85j00	2	小長谷 百絵		M2 対象
MHNU2031	春	看護学特別研究演習 I	NRS601-85j00	2	石川 ふみよ 三次 真理 田村 南海子		輪講, M2 対象
MHNU2071	春	看護学特別研究演習 I	NRS601-85j00	2	小長谷 百絵		M2 対象
MHNU2041	休講	看護学特別研究演習 I	NRS601-85j00	2			輪講, M2 対象
MHNU2021	休講	看護学特別研究演習 I	NRS601-85j00	2			輪講, M2 対象
MHNU2011	休講	看護学特別研究演習 I	NRS601-85j00	2			M2 対象
MHNU2051	春	看護学特別研究演習 I	NRS601-85j00	2	両羽 美穂子 岡本 菜穂子 申 于定		輪講, M2 対象
MHNU1010	春	キリスト教と人間論特論	NRS501-85j00	2	(他)瀬本 正之		
MHNU1020	1Q	看護研究法 I A	NRS502-85j00	2	小長谷 百絵 草柳 浩子 申 于定		輪講
MHNU1030	2Q	看護研究法 I B	NRS503-85j00	2	島田 真理恵 石川 ふみよ 塚本 尚子		輪講
MHNU7240	春	看護理論	NRS512-85j00	2	草柳 浩子 両羽 美穂子 小高 恵実 三次 真理 舩木 由香		輪講, 隔年開講
MHNU7120	秋	ヘルスケア哲学	NRS505-85j00	2	* 丹木 博一		
MHNU7110	春	倫理学特論	NRS504-85j00	2	(他)寺田 俊郎 * 有江 文栄		隔年開講
MHNU7210	休講	医療政策特講	NRS509-85j00	2			隔年開講
MHNU7130	休講	生涯発達学特論	NRS506-85j00	2			隔年開講
MHNU7160	春	ケアリング特論	NRS508-85j00	2	* 崎川 修		春集中
MHNU7400	秋	専門看護学ゼミ	NRS517-85j00	2	塚本 尚子 舩木 由香		輪講
MHNU7410	秋	専門看護学ゼミ	NRS517-85j00	2	石川 ふみよ 三次 真理 田村 南海子		輪講
MHNU7420	秋	専門看護学ゼミ	NRS517-85j00	2	小長谷 百絵		
MHNU7430	秋	専門看護学ゼミ	NRS517-85j00	2	島田 真理恵 佐山 理絵		輪講
MHNU7440	秋	専門看護学ゼミ	NRS517-85j00	2	草柳 浩子		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
MHNU7450	秋	専門看護学ゼミ	NRS517-85j00	2	両羽 美穂子 岡本 菜穂子 申 于定		輪講
MHNU7500	秋	専門看護学演習	NRS518-85j00	2	塚本 尚子 船木 由香		輪講
MHNU7510	秋	専門看護学演習	NRS518-85j00	2	石川 ふみよ 三次 真理 田村 南海子		輪講
MHNU7520	秋	専門看護学演習	NRS518-85j00	2	小長谷 百絵		
MHNU7530	秋	専門看護学演習	NRS518-85j00	2	島田 真理恵 佐山 理絵		輪講
MHNU7540	秋	専門看護学演習	NRS518-85j00	2	草柳 浩子		
MHNU7550	秋	専門看護学演習	NRS518-85j00	2	両羽 美穂子 岡本 菜穂子 申 于定		輪講
MHNU2032	秋	看護学特別研究演習Ⅱ	NRS602-85j00	2	石川 ふみよ 三次 真理 田村 南海子		輪講, M2 対象
MHNU2072	秋	看護学特別研究演習Ⅱ	NRS602-85j00	2	小長谷 百絵		M2 対象
MHNU2042	休講	看護学特別研究演習Ⅱ	NRS602-85j00	2			輪講, M2 対象
MHNU2022	休講	看護学特別研究演習Ⅱ	NRS602-85j00	2			輪講, M2 対象
MHNU2012	休講	看護学特別研究演習Ⅱ	NRS602-85j00	2			M2 対象
MHNU2052	秋	看護学特別研究演習Ⅱ	NRS602-85j00	2	両羽 美穂子 岡本 菜穂子 申 于定		輪講, M2 対象
MHNU7220	秋	看護研究法Ⅱ (質的研究)	NRS510-85j00	2	* 森岡 崇		
MHNU7230	春	看護研究法Ⅲ (量的研究)	NRS511-85j00	2	* 猫田 泰敏		2Q 集中
MHNU7250	秋	看護管理学特論	NRS513-85j00	2	両羽 美穂子 塚本 尚子		輪講、隔年開講
MHNU7260	休講	看護教育学特論	NRS514-85j00	2			隔年開講
MHNU7140	秋	国際比較文化論	NRS507-85j00	2	* 土居 由美		隔年開講
MHNU7270	秋	家族社会学	NRS515-85j00	2	(他)田渕 六郎		
MHNU9010	秋	修士論文	NRS699-85j00	0	看護学専攻教員		

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
NRS599-85j00	石川 ふみよ	
	小長谷 百絵	
	島田 真理恵	
	塚本 尚子	
	草柳 浩子	
	両羽 美穂子	